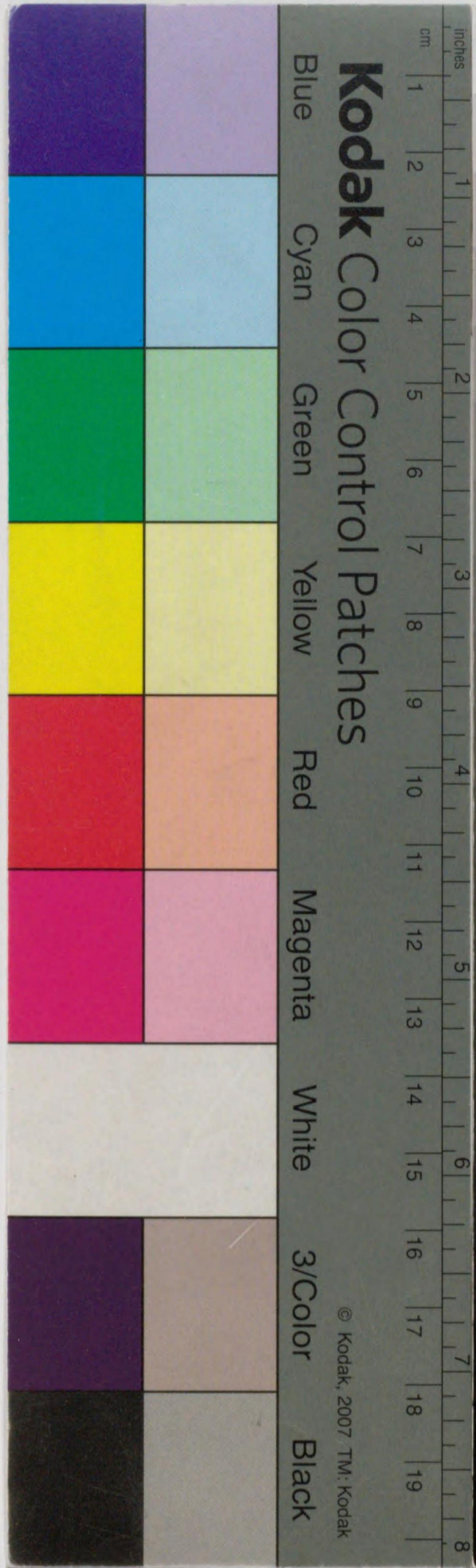


625
103

625-103
1200501538815

特許權及研究製作品目錄
理化學研究所編



625
103



昭和十五年九月

特許權及研究製作品目錄

法財
人團
理
化
學
研
究
所

東京市本郷區駒込上富士前町三番地
電話大塚(85)三七一七
振替口座東京六二二二三番

目次

一、特許権……………一頁

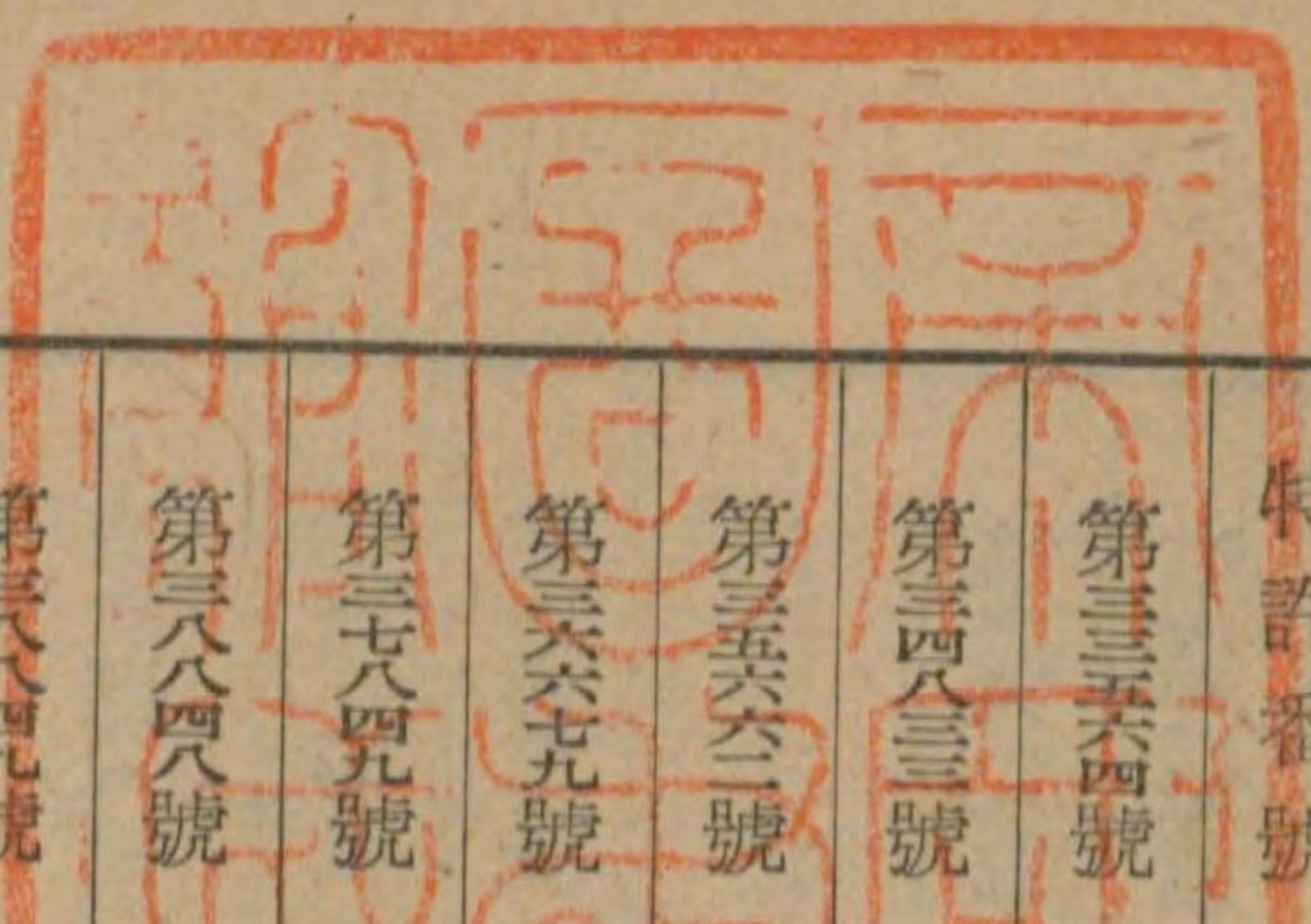
二、研究製作品……………八九

當所の所有してゐる内外國の特許権は昭和十五年六月三十日迄に、内國六〇〇件、滿洲國三九件、其他の外國一五〇件、實用新案一七二件、内國商標八四件、滿洲國商標一九件、登録意匠一件であつて、其内已に實施せられて居るものも可成りあるが、多くは未だ實施されずにある。適當の條件では是等の特許が社會に大に利用せられんことを望むものである。出願中のもの、又は公告中のものを除き已に登録せられた特許は左の通りである。

一、特許権

イ、内國特許

特許番號	名	稱	公告年月日	發明者
第三五五號	インドールの製造法		大正七年七月二十九日	眞島利行
第三八三號	蓖麻子酵素リパーゼに依る油脂分解法		八、八、一三	喜多源逸
第三五二號	感光發電池用電極		九、一、二八	飯盛里正
第三六九號	マグネシウム鹽の存在に於てカルシウム鹽を除去する方法		九、六、三〇	武部俊正
第三七九號	電流に依る砂鐵ブリケット製造法(追加)		一〇、一、一七	池田菊吉
第三八四號	蒸溜に依る純水採集装置		一〇、六、七	池田菊苗
第三八四九號	電流に依る鐵鍍ブリケット製造方法	同		池田菊苗
第三九二〇號	琥珀酸の製法		一〇、七、一一	鈴木梅太郎
第三九二二號	清酒代用飲料製造方法		一〇、八、九	鈴木梅太郎
第四〇五九號	電流に依る自動ブリケット製造装置		一〇、一一、七	山部俊正



~~752~~
~~338~~
625
103

第五〇三五號	空氣乾燥用吸着劑製造法 (追加)	一一、二、九	工學士 山本榮男
第五〇三四號	青化法による遊離窒素の固定法	一一、三、一四	理學士 寺田喜代松
第五〇四二號	擴散により亜鉛、アルミニウム、錫等の比較的熔點の小さな金屬を以て他金屬を被覆する改良方法	一一、二、一九	工學博士 眞島正市
第五〇五五號	蟻酸曹達よりフォルムアルデヒトアセトン及メチルアルコールの製造法	一一、三、二	工學士 田中寛
第五〇五八號	松柏科植物の樹脂若しくは同植物の樹脂液よりテレピン油を取り去りたる残渣等より一種の油を製造する方法	一一、三、七	理學博士 飯盛里安
第五〇五〇號	油脂より脂溶性ビタミン(ビタミンA)を抽出する方法	一一、三、一四	農學士 高橋克巳
第五〇六二號	亞硫酸アムモニアより硫酸アムモニアの製造法	一一、二、一六	理學士 石川總雄
第五〇六四號	砂鐵、黃土、沼鐵鑛等の砂狀若しくは破碎し易き鐵鑛より電解鐵を製造する方法	一一、六、一五	工學博士 大河内正敏
第五〇六五號	電氣絶緣塗料	一一、六、二〇	工學博士 鯨井恒太郎
第五〇六六號	研磨料アルミナ製造方法	一一、五、三〇	農學士 植木榮
第五〇一八號	溶液濃縮装置	一一、六、八	工學士 赤平武雄
第五〇三九號	吸着に依る空氣乾燥法 (追加)	一一、五、三〇	理學博士 岡澤部 菊苗

第四一四三號	電解精鍊により得たる純鐵管の處理法	一一、一、二四	工學博士 大河内正敏
第四一四六號	酸性白土に依る天然瓦斯及石炭瓦斯等の中に含まれたる揮發性油分を採集する方法	一一、一、二四	理學博士 池田菊
第四一六三號	電解精鍊により得たる純鐵の熱處理法	一一、二、七	工學博士 大河内正敏
第四一六八號	空氣乾燥用土類成形法	一一、四、二〇	理學博士 岡澤部 菊苗
第四一〇七號	電流に依る金屬酸化物の融和器物製造方法	一一、七、三	理學士 武部口 俊與
第四四七七號	高度眞空乾燥法	一一、一、二〇	理學士 磯部 甫
第四四七四號	吸着に依る空氣乾燥法	一一、二、二	理學博士 池田菊苗
第四四六八號	酸性白土又は縮絨土に依るアスファルト類固結法	一一、二、九	理學士 磯澤部 鶴治
第四三三五號	インドール、βアルデヒト製造法	一一、四、一四	理學博士 海老原宗太郎
第五〇二六號	電流に依る金屬酸化物の融和筒管製造方法	一一、一、二六	理學士 武部口 俊與
第五〇三三號	鐵鑛を硫酸溶液にて處理して硫酸第一鐵溶液を製造する方法	一一、二、九	工學士 中上川勇五郎

第六四三號	石炭酸及フオルマリンより無臭透明なる琥珀状縮合物を製造する方法	一、二、八、一	工學博士	喜多源
第六四四號	還元性氣體により酸化錫より錫を製造する方法	一、二、八、三	工學士	竹田吉郎
第六四五號	電磁石の磁力を測定する器械	一、二、八、一五	理學博士	長岡半太郎
第六四六號	アニリンの接觸的製造法	一、二、七、一六	理學士	久保田勉之助
第六四七號	透明溶融石英製造方法	一、二、八、一	理學士	吉河清
第六四八號	強磁性體特に鐵の電解法	一、三、五、一三	工學博士	眞島正市
第六四九號	コールドピッチとトルオールに依る新アスファルト	一、三、五、二三	理學士	磯部甫
第六五〇號	酸化水銀製造装置	同	農學士	渡邊貞雄
第六五二號	砂鐵、黃土、沼鐵鑛等の砂状若くは破碎し易き鐵鑛より電解鐵を製造する方法(追加)	一、三、七、四	工學博士	大河内正敏
第六五三號	吸著に依る天然瓦斯及石炭瓦斯等の中に含まれたる揮發油分を採集する方法(追加)	一、三、六、一八	理學博士	磯部菊苗
第六四七號	電磁氣應用化學天秤	一、三、六、二七	理學博士	長岡半太郎
第六七五號	醋酸纖維素製造方法	一、三、八、一三	工學士	富加松

第六七五號	植物質資料より脂溶性ビタミンを抽出する方法	一、三、八、一三	農學士	高橋克巳
第六七七號	アセチレンよりアセトアルデヒド製造法の改良	一、三、七、一六	農學士	渡邊貞雄
第六七八號	木蠟より有機溶劑及液體燃料を製造する方法	一、三、七、一一	理學博士	飯盛里安
第六八〇號	紫外線を吸収する物體ウルトラジン及其鹽類の製造法	一、三、七、二九	理學士	櫻井庸生
第六八二號	コロイド狀物質の濕分吸着力を増進する方法	一、三、七、二六	理學士	磯部甫
第六九〇號	アルミニウム並にアルミニウム合金の防銹法	一、三、八、一五	工學博士	植井恒太郎
第六九三號	無水フタル酸の製造法	一、三、八、二七	理學士	草間時蕃
第六九三號	氣壓測微計	一、三、八、二〇	理學博士	長岡半太郎
第六九五號	濾水材の製造方法	一、三、九、二六	理學博士	岡澤鶴治
第六九七號	アルミニウム電氣絶緣性皮膜の製法	一、三、九、一七	工學博士	植井恒太郎
第六九九號	磷酸鐵礬土鑛より人工ボーキサイト製造法	同	理學博士	池田菊苗
第六九八號	清酒代用飲料製造方法(追加)	一、三、一一、二八	農學博士	鈴木梅太郎
第六九八號	油脂より脂溶性ビタミンを抽出する方法	一、三、一一、一五	農學士	高橋克巳
第六九八號	酸化劑によるアルミニウム若くはアルミニウム合金電氣絶緣性皮膜の製法	一、三、三、一八	工學博士	植井恒太郎

第六五八號	沈澱選鍍法	一三、三、一五	理學士 石川 鐵彌
第六〇五號	短時間測定装置	一四、三、三〇	工學博士 青木 保
第六〇八號	磷酸礬土鍍處理法	一三、九、一七	工學博士 萩原 滿壽雄
第六一〇號	酸性白土の粘性増加法	一三、一、一七	小野田 虎藏
第六一六號	無氣泡透明琥珀様石炭酸フォルマリン縮合物製法	一三、一〇、一八	岡澤 鶴治
第六二九號	鑄物の氣泡を除去する鑄造方法	一四、二、一二	工學博士 喜多 源逸
第六四一號	漆類似塗料製造法	一四、二、一八	理學博士 本多 光太郎
第六四二號	プリズム干渉計	一四、二、二八	理學博士 海老原 敬吉
第六四三號	脂溶性ビタミン(ビタミンA)を含有する油脂より該ビタミンを有機溶劑に移行せしむる方法	一三、七、一八	理學博士 眞島 淳利
第六四四號	酸性白土と蓆酸水溶液との混合物より成れる膠狀物に依る古印刷紙漂白法	一四、三、九	理學博士 黒澤 淳利
第六四四號	波形分析機	一四、二、二七	工學博士 長岡 半太郎
第六四四號	天然産コロイド物質を混用したる石鹼	一四、三、四	理學士 磯部 甫
第六四九號	常磁性を有する溶液を用ひて磁場の強さを測定する装置	一四、三、九	理學博士 長岡 半太郎
第六四九號	水銀蒸氣弧光燈	一四、三、一八	理學士 淺田 常三郎
第六四九號	水銀蒸氣弧光燈	一四、三、一八	理學士 福田 光治

第六八三號	電解鐵の製造方法	一四、三、一三	工學士 花岡 元吉
第六八六號	金屬アルミニウム若はアルミニウム合金の電氣絶縁性皮膜の製法	同	工學博士 鶴飼 三五郎
第六九〇號	スーダンIII代用顯微鏡用色素製造法	一四、四、一六	農學博士 植井 恒太郎
第六九〇號	無水フタル酸の製造法	一四、四、一五	理學士 眞島 利行
第六九二號	異種金屬の粉粒混合物の焙焼に依る器物製造方法	一四、四、一三	理學博士 重松 哲二
第六九三號	アズールIの製造法	一四、四、四	理學博士 眞島 利行
第六九三號	アズールIの製造法	一四、四、四	理學博士 眞島 利行
第六九四號	デリス屬植物根の有効成分を含有せる驅虫劑製造法	一四、四、二七	農學士 武居 三吉
第六九四號	イルミノールG類の製法	一四、七、一〇	理學博士 眞島 利行
第六九四號	イルミノールR類の製法	一四、七、二七	同
第六九四號	臭化銀、鹽化銀或は沃化銀を含む寫眞用乳劑の製造法	一四、五、六	理學士 鈴木 庸生
第六〇八三號	煙草又は其廢物よりニコチン殺虫劑を製造する方法	一四、六、一〇	農學博士 山本 亮
第六〇八三號	煙草又は其廢物よりニコチン殺虫劑を製造する方法	一四、六、一〇	農學博士 山本 亮
第六五〇三號	内燃機關	一四、六、二二	内山 政治
第六八六二號	合金粉粒の加壓及び焙焼による器物製造方法	一四、八、七	理學博士 淺原 源七
第六九八八號	酵母の自家消化液を原料とする食酢の製造方法	一四、九、九	農學博士 植村 泰二

第六九八號	脂肪油中の水素を脱出せしむる性質を有するニツケル接觸劑の製法(甲號)	一四、八、一四	工學博士 喜多源逸
第六九七號	同上(乙號)	同	工學博士 馬詰哲郎
第六九一號	酵母の自家消化液を原料とするソースの製造方法	一四、九、九	農學博士 山本泰二
第六八三號	磁硫化鐵礦より亞硫酸瓦斯を製造する方法	一四、九、一一	工學博士 大河内正敏
第六七五號	アニリンの接觸的製造法(追加)	一四、九、二五	理學博士 久保田勉之助
第六七八號	アスファルト類の性質を改良する方法	一四、一〇、二五	理學博士 吉河清
第六七三號	煙草又は其廢物よりニコチン殺虫劑を製造する方法(追加)	一四、一一、二〇	理學博士 磯田菊甫
第六七五號	亞硫酸瓦斯除去法	一四、一一、一一	農學博士 山本亮
第六七四號	加壓及び焙焼による合金器物製造方法(追加)	一四、一〇、七	理學博士 淺原源七
第六七九號	金屬粉粒の加壓及び焙焼による器物製造方法	一五、一、一三	同
第六七六號	インドール・βエチルアミンの製法	一五、一、一三	理學博士 眞島利雄
第六七三號	鐵の硅化法	一五、一、八	理學士 尾間彦

第六八二號	纖維素をエステル化する法	一五、二、三	工學博士 喜多源逸
第六八一號	重力測定用振子裝置	一五、一、二九	工學博士 長岡半太郎
第六八四號	フルフラールの電解により同時にマレイン酸及琥珀酸を製造する方法	一五、二、五	理學博士 佐藤清
第六八五號	一酸化炭素より活性炭素を製造する方法	一五、二、一〇	農學博士 藪田貞治郎
第六八三號	礬土鹽類溶液より鐵分を除去する方法	一五、二、二四	理學博士 岡澤鶴治
第六八五號	オゾンによる樟腦の製造法	一五、三、一七	理學士 池田安二
第六八七號	永久帶電體を使用せる纖維電位計	一五、三、三一	理學博士 江口元治
第六八八號	送電を中止せずして碍子の良否を檢定する方法	同	理學博士 拔山太郎
第六九〇號	高速度指壓計	同	工學博士 西健
第六九〇九號	磷酸鐵礬土鑛處理法(追加)	一四、七、一七	小野田虎藏
第六九二五號	ペンゾール又はエーテル等に可溶性なる高級脂肪酸纖維素エステルの製造法	一五、四、二六	工學博士 喜多源逸

第七〇四號	シリンドー内壁に對し均一なる壓力を及ぼす ピストンリングの製作法	同	同	工學博士 大河内正敏
第七〇三號	磷酸鐵礬土鑛處理法(追加)	同	同	工學博士 小野田虎藏
第七〇二號	酵母よりグイタミンBを含有する調味料を製 造する方法	一五、八、六	農學博士 山本亮	
第七〇三三號	ナフタリンの接觸的還元法に依りテトラリン及 ビデカリンを製造する方法	一五、八、二七	農學博士 三浦政太郎	
第七〇四三號	寫眞乾板若くは感光紙の感光度を増大若くは 低減する方法	一五、九、二二	理學博士 飯盛里弘	
第七〇四四號	干涉的分光鏡	一五、一〇、一	理學博士 長岡半太郎	
第七二八五號	輕粗なる炭酸マグネシウムを製造する方法	一五、一一、一二	理學博士 鈴木喜代松	
第七二八六號	清酒代用飲料製造法	一五、一〇、一六	農學博士 鈴木梅太郎	
第七三〇號	天然瓦斯又は石炭瓦斯等よりメタン瓦斯を分 取しカーボンブラックを製造する方法	一五、一二、一	理學博士 磯部甫	
第七三三三號	アルカリ纖維素製造廢液の回收法	一五、一一、一九	工學博士 喜多源逸	
第七四三號	軟性又は比較的軟性なる金屬又は合金の粉末 を製造する方法	一五、一二、二〇	理學士 河野豪彦	
第七四四號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 今富一彦	
第七六三號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 尾邊一彦	
第七六四號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七六五號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七六六號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七六七號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七六八號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七六九號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七〇號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七一號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七二號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七三號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七四號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七五號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七六號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七七號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七八號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七七九號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八〇號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八一號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八二號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八三號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八四號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八五號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八六號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八七號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八八號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七八九號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九〇號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九一號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九二號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九三號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九四號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九五號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九六號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九七號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九八號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第七九九號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	
第八〇〇號	アセトアルデヒドを採集する方法	一五、一二、二〇	農學士 鈴木貞臣	

第六九三號	アルミニウム又は其合金の電氣絶縁防銹皮膜 製造法	一五、五、一二	工學士 瀬藤象二
第六九七號	送電を中止せずして碍子又は其他の絶絶物の 良否を判別する装置	一五、五、七	工學博士 西健
第六九三六號	濕分吸着劑製造法(追加)	一五、五、二一	理學士 磯部甫
第六九四三號	芳香屬ニトロ化合物の接觸的還元法(追加)	一五、六、二	理學博士 久保田勉之助
第六九四二號	無水フタル酸の製造法	一五、六、一八	理學士 草間時蕃
第六九四四號	耐水性燐光體の製造法	一五、六、一六	工學士 鈴木庸生
第六九七六號	電磁的サイクログラフ	一五、七、一二	工學士 赤平武雄
第六九七七號	電磁ヒステリシス損失の少なる純鐵板を製造 する方法	一五、七、七	工學博士 大河内正敏
第六九七二號	硅酸アルカリと酸性無水無機物とより耐水 性硬化物を製造する方法	一五、六、二四	理學博士 池田菊苗
第六九七八號	アセチレンよりアセトアルデヒドの製造に用 ふる活性を失ひたる接觸劑を回復利用する方 法	一五、七、一二	農學士 渡邊貞臣
第六九七〇號	炭酸曹達製造法	一五、七、九	農學士 阪田貞臣
第七〇三三號	ナフタリンの接觸的還元法に依りテトラリン 及びデカリンを製造する方法	一五、八、一三	理學士 寺田喜代松
第七〇三七號	弗化水素連續發生捕集装置	一五、八、一一	理學士 宇野征夫

第七七五號	高壓電氣を使用してカーボンブラックを製造する方法	昭和	二、一、二八	理學士	磯部甫
第七八九號	アセチレン熱重合法の改良		二、二、四	工學博士	喜多源逸
第七九七號	水銀電燈		二、二、一八	理學博士	馬詰盛一郎
第七九九號	金屬に硅素を含有せしむる方法		二、二、九	工學士	長岡半太郎
第七〇三號	電解により騰寫版鏤を製造する方法		二、三、二	工學博士	和岡三太郎
第七二九號	和硫護膜の脱硫方法		二、二、一一		町田敏男
第七三五號	金の沈澱法		二、三、九		黒田正夫
第七四九號	均一平滑なる沈澱を得る電解陰極の處理法		二、三、二五	工學博士	大河内正敏
第七六〇號	内燃機用發火栓		二、三、二八	理學士	花岡元吉
第七六八號	蓄電池用鉛粉製造方法		二、四、二四	理學士	武部俊平
第七三六號	輕粗なる炭酸マグネシウムを製造する改良方法(追加)		二、五、二二	理學士	鈴木庸生
第七三七號	軟性又は比較的軟性なる金屬又は合金の粉末を製造する方法(追加)	同		理學士	尾間富彦

第七三九號	研磨料アルミナ製造方法(追加)		二、四、三〇	理學博士	山口與平
第七三五號	原子の構造を變更せしむる如き強大なる電氣力を生ぜしむる方法		二、五、三	理學博士	長岡半太郎
第七三三號	天然瓦斯又は石炭瓦斯等よりカーボンブラックを製造すると同時に其餘熱を利用する装置		二、六、三	工學博士	淺田常三郎
第七五二號	金屬磨料の製造方法		二、六、一〇	工學博士	大河内正敏
第七七二號	切削機械に於ける切削力を測定する装置		二、六、一三	工學士	大越諄
第七七四號	粘土類又はボーキサイト含有粘土類よりアルミナセメントを製造する方法		二、六、一三	工學士	鈴木庸生
第七七四號	硫酸バリウム又は重晶石處理法		二、六、六	理學士	鈴木庸生
第七九四號	パッキング用金屬環の製造法		二、六、二四	理學士	寺田喜代松
第七九五號	金屬削屑又は布片綿等に附着せる油の回收法		二、七、六	工學士	大河内正敏
第七九五號	錐の切削力試験機		二、七、一	工學士	花岡元吉
第七九五號	アセトアルデヒドの製造と同時に脂肪酸又はアルコール類の水溶液を濃縮する法		二、六、一	農學士	岡澤鶴治
第七九五號	屈折計		二、七、四	理學士	渡邊貞臣
第七九五號	抵抗溫度計兼壓力計		二、七、二	理學士	池邊常刀

第七四〇四號	磷礦、貧磷礦又は其他の不溶性磷酸石灰より磷酸二石灰を製造する方法	二、七、一五	鈴木縫之助
第七四〇五號	粘土類又はボーキサイト含有粘土類よりアルミナの製造法(B)	二、八、八	工學士 鈴木庸生 工學士 栗田寅雄
第七四二四號	ベンゾールの酸化によりてマレイン酸を製造する方法	二、七、二二	農學士 下瀬林太
第七四〇〇號	新色素の製造法	二、七、一八	理學士 尾形輝太郎
第七四〇〇號	デリス屬植物根の有効成分を含有せる驅蟲劑製造法	二、七、二九	農學士 大堀俊雄
第七四〇五號	パツキング用金屬環の製造法	二、八、二四	工學博士 大河内正敏 理學士 海老原敬吉
第七四二號	荷電子	二、八、八	理學博士 西川正治 理學士 拔山大三
第七四二號	粘土類又はボーキサイト含有粘土類よりアルミナを製造する方法(A)	二、二二、九	理學士 鈴木庸生 工學士 栗田寅雄
第七四八號	清酒代用飲料製造法(追加)	二、八、一	農學博士 鈴木梅太郎
第七四八號	無水鹽化マグネシウムの製造法	二、九、二	工學士 田中今富祥一郎
第七四八號	鹽基性炭酸マグネシウム製造法(追加)	二、八、一七	理學士 鈴木庸生 理學士 寺田喜代松
第七五〇七號	電動機ノ速度特性測定装置	二、九、七	工學士 瀬藤象二
第七五二〇號	石炭酸及びフォルマリンより合成せる人造樹脂を原料とする油假漆製造方法	二、六、一〇	工學博士 喜多源逸 松井悦三

第七五九號	瓦斯中の揮發成分採集法	二、九、一九	工學博士 大河内正敏
第七五三號	絶縁性若くは半絶縁性液體中に存在する異種の物質を分離する方法	二、一〇、一〇	理學士 小幡彦一
第七五三號	電氣振動を利用して混合物を其成分に分別する方法	二、一〇、一四	同
第七五三號	一酸化炭素又は之を含有する瓦斯より細粉狀黒鉛を製する法	二、一〇、一〇	理學博士 淺原源七 渡邊得之助
第七五三號	純アルミナの製造法	二、一〇、二二	工學士 鈴木庸生 工學士 栗田寅雄
第七五八四號	廻轉體のアンバランスを検測する装置(A)	二、一〇、二六	工學士 宮本武之助
第七五八五號	廻轉體のアンバランスを検測する装置(B)	二、一一、二	同
第七五八八號	水中に含有する油分を除去する方法	二、一一、二五	岡野鶴治
第七五八八號	粘土類又はボーキサイト含有粘土類よりアルミナセメントの製造法(追加)	二、一一、九	工學士 佐野照吉 工學士 鈴木庸生
第七五八五號	陽畫感光紙の製造法	二、八、二〇	櫻井季雄
第七五八六號	フェノールキノリン類の製法	三、二、二九	理學士 尾形輝太郎
第七五八七號	高強度の石膏製造法	三、二、二七	工學士 前田勤
第七五八八號	真空放電管繼電器	三、二、三二	工學博士 西合正治 星合健

第七八六號	メタンを接觸的に酸化してフォルムアルデヒドを製造する方法	同	三、六、二〇	農學博士	藪田貞治郎
第七八七號	メタンを接觸的に鹽素化して四鹽化炭素及クロフォルムを製造する方法	同	三、六、二二	農學博士	下瀬六郎
第七八八號	メタンを高壓下に接觸的に酸化してメチールアルコール及フォルムアルデヒドを製造する方法	同	三、六、二七	農學博士	小竹無二雄
第七八九號	交流發電機及電磁石を用ひて廻轉體のアンパランスを檢測する装置	三、二、二九	三、七、二九	農學博士	赤平武雄
第七九〇號	偏光彈性試驗用比較應力計	三、二、二八	三、七、二五	農學博士	今富祥一郎
第七九一號	内燃機關の噴油装置	三、四、一一	三、七、二一	農學博士	橋本七政
第七九二號	デリス屬植物根の有効成分を含有せる粉末驅蟲劑	三、四、一六	三、七、二〇	農學博士	大堀俊雄
第七九三號	天然瓦斯又は其の他の瓦斯よりカーボンブラックを製造する装置	三、五、二	三、七、一五	農學博士	本多侃士
第七九四號	靜電サイクログラフ	同	三、七、一〇	農學博士	平林寬雄
第七九五號	赤外線感光色素の製法	三、五、一九	三、七、〇五	農學博士	尾形輝太郎
第七九六號	高強度の石膏製造法(追加)	三、五、一八	三、七、〇〇	農學博士	前田勤
第七九七號	硫化マグネシウム及び鐵を製造する方法	三、六、二	三、七、〇〇	農學博士	今富祥一郎
第七九八號	早乾性漆の製造法	三、六、一六	三、七、〇〇	農學博士	今富祥一郎

第七三五號	ペンゾールの酸化によりマレイン酸を製造する方法	三、六、二〇	農學博士	藪田貞治郎
第七三六號	有機酸エステルの製造法	三、六、一五	農學博士	下瀬六郎
第七三九號	絹絲腺より動物性人造絹絲を製造する方法	三、三、三〇	農學博士	小竹無二雄
第七四〇號	膜面	三、五、二	農學博士	山賀益三
第七四一號	内燃機關の唧筒噴油装置	三、六、二九	農學博士	鈴木庸生
第七四二號	平板状或は鱗片状の結晶を一様に並列せる膜面の製造法	三、六、二二	農學博士	鈴木庸生
第七四三號	粘土類又はボーキサイト含有粘土類よりアルミナセメントを製造する方法(追加)	三、六、二七	農學博士	鈴木庸生
第七四四號	色漆製造法	三、七、九	農學博士	鈴木庸生
第七四五號	瓦斯中の揮發成分を採集する方法	三、七、六	農學博士	鈴木庸生
第七四六號	吸着塔内に吸着せられたる揮發成分追ひ出し用の高熱氣體發生装置	三、七、二三	農學博士	鈴木庸生
第七四七號	カンフエンの製造方法	三、七、二三	農學博士	鈴木庸生
第七四八號	瓦斯又は氣體の檢出装置	三、六、一	農學博士	鈴木庸生
第七四九號	高壓廻轉壓縮機	三、七、二五	農學博士	鈴木庸生

第688号	純粹なる酸化マグネシウムの製法	三、七、二七	理學士 鈴木庸生
第711号	有機性油を吸着せる乾燥珪酸粉末劑を製造する方法	三、八、一七	理學士 稻葉見敬
第712号	電解鐵の製造法	三、八、二九	工學博士 大河内正敏
第713号	無水鹽化マグネシウムの製造法(追加)	三、八、二七	工學士 田中元吉
第744号	微小時間測定装置	三、九、八	工學士 今富祥一郎
第771号	魚油脱臭法	三、九、一二	工學博士 池邊常刀
第798号	水和纖維素より成る人造絹絲の性質を改良する方法	三、八、二二	工學博士 喜多源逸
第803号	氣筒内壁に對し均一なる壓力を及ぼすピストンリングの製造方法(追加)	三、八、六	工學博士 大原内正敏
第807号	寫真原板の減感現象法	三、一〇、二三	工學士 福島信之助
第808号	電氣工作物の閃絡電壓を上昇せしむる装置	三、一〇、一九	工學博士 西健
第809号	椎茸又は其の他の茸類よりエルゴステリンを抽出する方法	三、一〇、一五	農學士 鷺見瑞穂
第810号	微分儀	三、一一、二三	工學博士 青木保
第817号	ピストンリングがシリンドラ内壁に及ぼす壓力を測定する装置	大正 一五、一二、二二	工學博士 海老原敬吉

第807号	冷房用冷却清淨空氣製造方法	昭和 三、一二、一二	理學士 磯部甫
第808号	水蒸氣を使用しメタン又は之を含有する瓦斯の接觸的酸化による水素及二酸化炭素混合物の製造法	三、一二、七	理學博士 久保田勉之助
第809号	纖維精練用油の製造方法	三、一二、一九	工學博士 山中龍雄
第819号	氣筒内壁又はピストンロッドの外周等に均一なる壓力を及ぼすべき金屬環の製造法	四、一、八	工學博士 大河内正敏
第829号	塗料用アスファルトエマルション製造法	三、一二、一	工學博士 喜多源逸
第836号	防水性珪酸質塗料	三、九、二五	理學士 鈴木庸生
第843号	感光電池	三、九、一四	理學士 淺居彦一
第847号	黑色酸性媒染染料製造法	三、七、二二	理學博士 上野繁藏
第848号	ブラックテープ製造法	四、二、一八	横山達一
第849号	常壓水銀燈(A)	四、二、二五	池田武夫
第850号	同 (B)	同	同
第851号	アスファルト類の固結法	四、二、一四	理學士 磯部甫
第852号	ゼラニオール及シトロネラルを主成分とする植物性揮發油の處理法	四、三、四	鈴木鑛二

第八四九八號	熱電子真空管の出力を用ゆる他勵磁電動機の制御装置	三、一一、一五	工學士	田口柳三郎
第八四九〇二號	香りを附與する装置	四、一〇、七	農學博士	加藤正二郎
第八四八九四號	沈澱及濾過促進用土類	四、九、一一	理學士	岡野照吉
第八四八九三號	水蒸氣を使用しメタン又は之を含有する瓦斯の接觸的酸化による一酸化炭素及水素混合物の製造方法	四、一〇、七	理學博士	久保田勉之助
第八四七〇四號	研磨料アルミナ製造方法(追加)	四、九、一三		武部俊正
第八四四一六號	合成白土製造法	四、七、二	理學士	磯部甫
第八四〇九號	鉛の極微粉製造法	四、一、九	理學士	鈴木庸生
第八四三〇號	石油又は石油より得らるゝ油分或は其他の非芳香族炭化水素の酸化によるマレイン酸を製造する方法	四、八、二三	農學士	下瀬林太
第八四三六號	金屬磨	四、八、一二	理學士	寺田喜代松
第八三九〇號	固形炭酸製造装置	同	工學博士	大河内正敏
第八三九一四號	活性炭製造方法	四、八、七	工學博士	岡野照吉

第八三七七號	純粹にして平滑なる電解鐵の製造法	四、三、二五	工學博士	大河内正敏
第八三三六號	青寫眞用試薬によりて生ずる書畫等の陽像を印刷し得べき膠膜	四、二、二五	理學博士	久保田勉之助
第八三三九號	白土の吸着力を増進する方法	四、三、三〇	理學士	磯部甫
第八三三〇號	金屬マグネシウム製造法	四、三、一八		今富祥一郎
第八二五五號	乾燥冷却空氣製造装置	四、四、一二	工學博士	大河内正敏
第八二七二號	絹織維を原料とする動物性人造絹絲製造法	四、一、二五	農學士	山賀益三
第八二五四號	トウイストドリル	四、二、四	工學博士	大河内正敏
第八二八五號	ベンゾールの酸化によりてマレイン酸を製造する方法	四、五、八	農學博士	藪田貞治
第八二〇四號	アルミニウム若はアルミニウム合金の防水性電氣絶縁及防銹皮膜の製法	四、五、一五	農學士	下瀬林太
第八一〇七號	防水性硅酸塗料(追加)	四、五、三一	理學士	宮田聰
第八三六七號	磁性質又は非磁性質材料よりなれる肉薄き工作物の表面を仕上ぐる工作法	四、六、一二	工學博士	大河内正敏
第八三四九號	沈澱又は濾過促進法	四、七、一		岡野照吉
第八三九八號	飲料中に含有せらるるフォルムアルデヒト又はアセトアルデヒト等を除去する方法	四、八、七	工學博士	喜多源逸

第八〇三號	清酒代用飲料製造方法	五、五、五	農學博士 加藤正二
第八〇二號	乾燥裝置	五、五、一六	工學博士 大河内正敏
第八〇一號	動物性品の處理法	四、一、九	アマスターオン
第七九七號	電氣發熱體の製造方法	五、三、二六	武部俊正
第七九六號	魚油脱臭法の改良	五、二、一	工學博士 喜多源逸
第七九四號	バラシニングマシンに使用するべきアンバラ	五、三、一	工學士 宮本武之助
第七九三號	電氣發熱體の製造方法	五、三、二六	内山政治
第七九二號	動物性品の處理法	四、一、九	アマスターオン
第七九一號	乾燥裝置	五、五、一六	工學博士 大河内正敏
第七九〇號	清酒代用飲料製造方法	五、五、五	農學博士 加藤正二
第七八八號	材料抗張力試驗機	五、七、二五	工學博士 青木勝基
第七八七號	サイクログラフ兼オシシログラフ	五、八、四	工學士 赤平武雄
第七八六號	感光紙現像機	同	アマスターオン
第七八五號	銳感繼電器	五、八、一三	工學士 櫻井三郎
第七八四號	水蒸氣を使用シメタン又は之を含有する瓦斯の接觸的酸化による水素及二酸化炭素の製造法(追加)	五、八、一	理學博士 草間時蕃
第七八三號	陰極線オシシログラフ	五、九、一	工學士 渡邊俊平
第七八二號	密度大なる固形炭酸製造裝置	五、九、一七	工學博士 大河内正敏
第七八一號	天然絹絲再生方法	五、九、五	工學博士 喜多源逸
第七八〇號	肝臟より造血劑を製造する方法	五、一〇、一〇	醫學博士 中野源三
第七七九號	油類浸出法	五、一〇、二九	醫學博士 島本鶴造
第七七八號	カリウム鹽及びアムモニウム鹽を吸着集取する法	五、一一、二七	理學博士 堀江忠一

第八五二〇號	強力なるヴィスコース絹絲の製造裝置	四、一、一	工學博士 喜多源逸
第八五一九號	阻止瓣	四、一〇、二一	工學士 富原甚三郎
第八五一八號	電氣發熱體	五、一、一〇	アマスターオン
第八五一七號	活性炭素製造方法	五、一、一三	理學士 遠藤義臣
第八五一六號	鍍金法	五、二、一	理學士 寺田喜代松
第八五一五號	鍍金劑	同	同
第八五一四號	測時機	五、一、一〇	工學博士 青木保
第八五一三號	魚油脱臭法の改良	五、二、一	工學博士 喜多源逸
第八五一二號	バラシニングマシンに使用するべきアンバラ	五、三、一	工學士 宮本武之助
第八五一一號	電氣發熱體の製造方法	五、三、二六	内山政治
第八五一〇號	動物性品の處理法	四、一、九	アマスターオン
第八五〇九號	乾燥裝置	五、五、一六	工學博士 大河内正敏
第八五〇八號	清酒代用飲料製造方法	五、五、五	農學博士 加藤正二

第九〇五號	揮發性溶劑に依る動植物質の滲出装置	五、一、二、一	マシュー・オフ	渡邊 政徳
第九〇六號	磁氣制御二極真空管	五、一、二、三	工學士	瀨藤 象二
第九〇七號	含水鹽化マグネシウムよりマグネシウム電解質を製造する方法	五、一、一、二、八	工學士	今富祥一郎
第九〇八號	固形炭酸製造装置 (追加)	五、一、二、八	工學博士	大河内正敏
第九〇九號	絶縁破壊電壓の自動連續試験装置	五、一、二、一五	工學士	赤平 武雄
第九一〇號	アルミナ製造方法	五、一、二、一五	理學博士	岡澤 鶴治
第九一五號	炭化水素油處理装置	五、一、二、二六	工學博士	遠山 正敏
第九一七號	朝鮮人參より其の有效成分なる新サポニンを製造する方法	六、三、六	理學博士	小竹無二雄
第九一八號	センノキの皮より一種の新サポニンを製造する方法	六、三、九	同	同
第九一九號	センノキの皮より一種の新サポニンを製造する方法	同	同	同
第九二〇號	廻轉體の廻轉狀態を觀測する装置	六、三、一三	工學士	宮本武之助
第九二一號	運轉中の工作物の切削度を精密に表示せしめるオプティカルリミットゲージ	六、三、二三	工學博士	大河内正敏
第九二二號	動物性品の處理法	六、三、二七	理學博士	鈴木 庸生

第九〇四號	可變炭素板抵抗器	六、四、六	工學士	瀨藤 象二
第九〇三號	マグネシウム電解装置	六、四、一七	今富祥一郎	今富祥一郎
第九〇六號	壙埤よりアルミナを製造する方法	六、五、一八	理學博士	飯盛 里安
第九〇七號	赤外線感光性新色素の製造法	六、五、八	理學博士	飯盛 里安
第九〇八號	氣筒壁に對し均一なる壓力を及ぼすピストンリングを製作する方法	六、五、一一	工學士	海老原 敬吉
第九〇九號	ラドン定量器	六、六、一	理學博士	飯盛 里安
第九一〇號	鐵附液	六、五、二二	理學博士	鈴木 庸生
第九一一號	壙埤より吸着製劑を製造する方法 (追加)	六、五、二五	理學博士	尾間 一彦
第九一二號	微弱電流の積算計	六、六、二二	工學士	飯盛 里安
第九一三號	チタニウムを含有する粘土類又はチタニウムを含有するボーキサイト或はヂャスボア及び此等を含有する粘土類よりアルミナを製造する方法	六、六、二九	理學博士	鈴木 庸生
第九一四號	赤外線感光性色素Uの製造法 (追加)	六、九、二八	理學博士	尾形輝太郎

第九四三號	赤外線感光性色素VIIの製法(追加)	六、九、二五	理學博士 尾形輝太郎
第九四三三號	赤色光線感光性色素Rの製法(追加)	同	同
第九四三二號	白晝映寫幕	同	理學博士 清水 武雄
第九四五五號	内燃機關の含氣噴油方法	三、三、二八	工學博士 大河内正敏
第九四五六號	含氣噴油唧筒	二、一、一五	工學博士 大河内正敏
第九四五七號	内燃機關の含氣噴油裝置	三、九、二七	同
第九四七九號	氣筒内壁に均一なる壓力を及ぼす可きピストンリングの製造法	六、一、一八	工學博士 大河内正敏
第九四八〇一號	瓦斯中の揮發成分を採集する裝置	六、一、一六	工學博士 大河内正敏
第九四九六號	ピリヂン屬の還元法	六、一、二五	理學博士 草間 時蕃
第九四九五號	アルミニウム又は其合金の部分的着色方法	六、一、三〇	工學士 宮 田 聰
第九〇六〇號	線絲絡交裝置	六、一、一四	中川 房三 福川 昌德 松田 昌德
第九二九四號	セノキの皮より一種の新サポニンを製造する方法	六、一、一五	理學博士 小竹無二雄
第九三三號	綠色寶玉様石英製造方法	六、一、二八	理學士 中山 治平 山中 治平 武部 俊正

第九五五二號	氣筒内壁に對し均一なる壓力を與ふるピストンリングの製造法	七、二、一	工學博士 大河内正敏
第九五八七號	脂肪酸(主としてベルミチン酸ステアリン酸及オレイン酸)のシクロヘキサノール又はメチルシクロヘキサノールのエステル製造法	同、	理學博士 草間 時蕃
第九五九九號	ピストンリング試験法	七、二、一五	工學博士 大河内正敏
第九五九〇號	無水アルコール製造法	七、二、一〇	農學博士 海老原敬吉
第九二七號	音響記録方法	七、二、一七	農學士 關 戸 惣平
第九四四二號	炭酸マグネシウム乾燥法	七、四、四	工學博士 渡邊 俊平
第九六八〇號	赤外線感光性色素Uの製法	七、四、一三	理學博士 大河内正敏
第九六八二號	赤色光線感光性色素Rの製法	七、四、三〇	同
第九七〇四號	高度不飽和脂肪酸或は其のエステルより環状構造を有するモノカルボン酸或は其のエステルの製取法	七、五、四	紀 喜 一 郎
第九七七一號	水蒸氣を使用しメタン又は之を含有する瓦斯の接觸的酸化による水素及二酸化炭素の製造法(追加)	七、七、四	理學博士 草間 時蕃
第九八〇三號	氣筒壁に對し均一なる壓力を及ぼすピストンリングの製法	六、一、二〇	工學博士 海老原敬吉
第九八〇四號	シリンドー内壁に對し均一なる壓力を及ぼすピストンリングの製造法(追加)	七、七、一八	工學博士 大河内正敏

第九〇五號	酸化炭素の還元による揮發油及び石油の製造法	七、七、二二	工學博士 喜多源逸
第九〇六號	ピッチ又はアスファルトの揮發分を採集し同時にコークスを製造する方法	七、七、一八	工學士 藤村建次郎
第九〇七號	含水澆青乳劑製造法 B	七、八、二	理學博士 磯部甫
第九〇八號	純鹽化マグネシウム製造法	同	理學博士 和田俊之
第九〇九號	陽晝感光紙の製造法	七、七、一三	理學博士 鈴木庸生
第九一〇號	アセチレンの接觸的水素添加によるエチレンの製造法	七、七、一五	理學博士 尾富祥一
第九一五號	空氣冷却装置 (追加)	七、八、一三	理學博士 櫻井三季
第九一六號	人造トリニダットアスファルト製造法	七、八、一二	工學博士 渡邊政徳
第九一七號	苦汁其他のマグネシウム鹽含有溶液より純粹なる水酸化マグネシウムを製造する方法	七、八、二四	理學博士 鈴木庸生
第九一八號	加熱重合による魚油脱臭法の改良	七、九、一六	工學士 寺田喜代松
第九一九號	超可聴音波を利用する通信方法	七、一〇、一	工學博士 小田良平
第九二〇號	酒類の香味良化法	七、八、二二	農學士 木下正雄
第九二四號	逆縮合硫化護膜の製造法	七、一、二	理學博士 新井勝五郎

第九二五號	護膜軟化劑の製造方法	七、一〇、二四	同
第九二六號	材料試験機	七、一〇、二八	工學博士 眞島正市
第九二七號	炭酸瓦斯を含有する瓦斯中より純粹なる炭酸瓦斯を製造する方法	七、一一、八	理學博士 久保田勉之助
第九二八號	白晝映寫幕 (追加)	八、三、七	理學博士 清水武雄
第九二九號	トウイストドリル製造法	五、三、一	工學博士 大河内正敏
第九三〇號	微分係數算出器	七、一一、二八	工學博士 山本健齋
第九三一號	炭化水素乾溜又は破壊乾溜電氣爐	七、一〇、一九	工學博士 大河内正敏
第九三二號	護膜タイル又は護膜敷物等の製造法	七、一二、二四	理學博士 吉川退藏
第九三三號	旋刀工具角度検査機	八、一、一八	工學博士 草間時一
第九三四號	ポリメチンシアニン色素の製造法	八、一、二一	工學博士 大河内正敏
第九三五號	爆發瓦斯檢出機	八、一、二六	理學博士 尾形輝太郎
第九三六號	摩擦電動装置	八、二、一	工學博士 辻 二郎
第九三七號	炭酸瓦斯の脱臭法	八、一、三〇	工學博士 大河内正敏
第九三八號	芳香屬ニトロ化合物の接觸的還元法	八、二、二二	理學博士 吉河内正敏

第一〇五三號	太陽輻射エネルギーに依る蒸溜装置兼日光照度計	八、三、六	理學博士	鈴木庸生
第一〇五二號	旋刀工具自働検査機	八、三、八	工學博士	大河内正敏
第一〇五三號	林檎酸曹達を含有する醬油類の調味料製造法	八、二、二七	農學博士	下瀬林太
第一〇五四號	變成油脂の製造法	八、二、二二	工學士	青山伊佐男
第一〇五二號	圓筒型日光蒸溜装置	八、三、二二	理學博士	小田良平
第一〇九六號	天然鹹水を原料とする飲用鹽類水の製造法	八、四、一二	理學博士	鈴木忠庸
第一〇二六號	多織維電位計	八、四、二一	工學博士	堀江一
第一〇四九號	粉末ビッチを使用することによるアスファルト舗道施工法	八、五、五	理學博士	石川鐵彌
第一〇四七〇號	アルミニウム若くはアルミニウムを主とする輕合金の防蝕皮膜製法	八、五、一二	工學博士	馬場駿
第一〇六五二號	偏光器又は偏光装置を使用する秘密通信方法	八、九、六	工學博士	大越伸
第一〇六五二號	含水鹽化マグネシウムよりマグネシウム電解質を製造する方法	八、五、二二	工學博士	福井二
第一〇六五三號	護謨タイル接着劑の製造法	八、五、三一	工學博士	今富祥一郎
第一〇三六七號	水素オイン濃度測定用ビュレット	八、六、二一	理學博士	横山達一

第一〇三六八號	音響振動板	八、六、二一		高須次郎
第一〇三四七〇號	電氣式滴定装置	八、八、八	理學博士	齋藤正一郎
第一〇三七六號	酒性飲料又は食酢の製造に使用すべき芳香液の製造法	八、七、三一	農學士	庄司謙次郎
第一〇三七七號	フィルム自働現像装置	八、八、八	理學士	石動弘
第一〇三七八號	含水鹽化マグネシウムよりマグネシウム電解質を製造する装置	八、八、四	工學博士	大河内正敏
第一〇三九三號	アセチルブフアギン及アンヒドロ、アセチルブフアリンの混合物の製造法	八、八、二三	理學博士	小竹無二雄
第一〇三九四號	芳香族チオンカルバミン酸エステルの製法	八、八、二三	工學博士	鈴木順一
第一〇三九五號	マグネシウム電解装置	八、九、八	工學博士	大河内正敏
第一〇三九六號	珪ニッケル鑛處理法	八、九、一	工學博士	尾間正彦
第一〇四四六號	アンモニア合成用水素窒素混合瓦斯を製造する方法	八、一〇、二	理學博士	磯部義甫
第一〇四四七號	保溫用物體の製造法	八、九、一八	理學博士	鈴木庸生
第一〇四八〇號	鹽堊又は之に類似する土壤よりアルミナを製造する方法	八、一〇、一〇	理學博士	飯盛里安
第一〇四八七號	含水マグネシウム電解質乾燥方法	八、一〇、三〇	工學博士	大河内正敏

第一〇四七三號	既知濃度の濃度濾光板及び既知階段比を有する既知濃度の階段的光學楔の製造方法	八、一〇、二三	理學博士 鈴木庸生
第一〇四八七號	無水鹽化マグネシウムの製造法	八、一一、一	理學博士 鈴木庸生
第一〇四八七四號	ボリメチン染料の製法	八、一〇、三〇	理學博士 尾形輝太郎
第一〇四八七六號	電流計を應用せる電氣式波形分析機	八、一一、一	工學博士 野口孝重
第一〇五一〇五號	新樹脂狀縮合油の製造法	八、一一、一七	工學士 小田良平
第一〇五五七號	直流電流計を應用せる電氣式波形分析機	八、一一、四	工學博士 野口孝重
第一〇五五九號	デクロロイルソジベンゼンスロンとアンスラニル酸又はそのエステルとの縮合により新建築染料を製造する方法	八、一一、二七	理學士 中西又雄
第一〇五三〇〇號	デクロロイルソジベンゼンスロンの硝化による帯緑青色建築染料の製造法	八、一一、四	同
號一〇五三〇一第	Bz-1-Bz-1'-デベンゼンスロニールを製造する方法	八、一一、八	同
第一〇五三〇二號	流水管異狀腐蝕防止法	八、一一、一	理學博士 深川庫造
第一〇五四四四號	カーナリット製造法	八、一一、二〇	工學博士 尾間一彦
第一〇五七〇八號	金屬環工作機械	九、一、八	工學博士 大河内正敏
第一〇五七〇九號	偏光器又は偏光照明装置	九、一、一七	工學博士 木下正雄
第一〇五九二二號	直流電流計を應用せる電氣式波形分析機	九、二、二	工學博士 野口孝重

第一〇六一四號	防火塗料の製造法	九、一、二一	工學士 小田良平
第一〇六二六號	強度大なる護膜品を製造する方法	九、二、一六	理學博士 草間達一
第一〇六二七號	多翼回轉「シャッター」の製造法	九、二、二二	工學士 大柴五郎
第一〇六二八號	曹達灰又は加里灰の製造法	九、二、二一	理學博士 大河内正敏
第一〇六三六號	蔗糖又は轉化糖の水素化法	九、三、九	理學士 吉河清
第一〇六五〇號	酸化炭素の還元による揮發油及び石油製造法	九、三、一九	工學士 藤岡俊三
第一〇六七九號	耐酸塗料製造法	九、四、四	理學博士 草間達一
第一〇七〇〇九號	炭酸瓦斯と水素瓦斯を主成分とする混合瓦斯の製造法	九、四、一一	理學博士 磯山義臣
第一〇七一六號	音響記録又は再生装置	九、五、四	工學士 遠藤義臣
第一〇七三三號	陽畫感光紙の製造法	九、五、一六	理學博士 大柴五郎
第一〇七四四號	爆發瓦斯檢出器	九、五、二五	理學博士 田沼三千尋
第一〇七五五號	酸性縮合油の製造法	九、五、三〇	工學士 山尾公直
第一〇七七四號	「コールター」系「アスファルト」乳劑製造法	九、六、一一	理學博士 磯部俊之
第一〇八三四號	澱粉又は其加水分解物たる「デキストリン」或は麥芽糖の水素化法(追加)	九、七、二七	理學士 吉河清

第一〇九〇二號	保溫又は保冷装置 (B)	九、一二、一〇	工學博士	井口春久
第一〇九〇三號	接觸子開閉装置	九、一二、一二	工學博士	石田義雄
第一〇九〇六號	高粱蒸溜酒の製造方法	九、八、二七	農學士	庄司謙次郎
第一〇九〇七號	光學的音響記録方法	九、一一、二六	工學士	渡邊俊平
第一〇九〇八號	硫黄オルガノゾール製造法	九、一二、一四	理學博士	稻葉見敬
第一〇九三三號	β (10) オキシカンファールの製造法	一〇、一、一八	農學博士	佐橋次郎
第一〇九五七號	高聲器	一〇、二、四	工學士	田口湖三郎
第一〇八四號	カンフェロール處理法	一〇、二、一三	農學博士	佐橋次郎
第一〇八五號	π オキシカンファールの製造法	同	農學博士	佐橋次郎
第一〇八六號	發育促進ビタミンを採取する方法	同	農學博士	伊藤常安
第一〇八七號	双形電極を取付けたる球狀火花間隙装置	一〇、一、四	工學博士	本多侃士健

第一〇八三九號	中空「ヴィスコース」人造絹絲製造法	九、七、三〇	工學博士	喜多源逸
第一〇八四二號	水晶共振子を用ひて液體中に超可聽音波を發生せしむる装置	九、八、一	理學士	阿部正彦
第一〇八四三號	脈動直流測定装置	九、七、一八	工學博士	野間誠夫
第一〇八六二號	光學楔の製造法	九、八、三一	工學士	野口孝重
第一〇八九四號	炭酸「マゲネシウム」製造法	九、九、一四	理學博士	福島信之助
第一〇九一七號	酒精飲料 酒精調味料又は人工食酢等に清酒又は粕取焼酎の如き芳香を附與する方法	九、九、二八	農學士	寺田喜代郎
第一〇九五〇號	珪酸又は珪酸鹽と混在せる水に難溶性「アルミニウム」鹽の分離精製法	九、一一、五	理學博士	鈴木庸生
第一〇九五二號	輕質斷熱材	九、一〇、二四	理學博士	堀江忠一
第一〇九五三號	眞珠光澤を有する裝飾用液體の製造法	九、一一、二	理學博士	寺田喜代郎
第一〇九五三號	塗裝絶緣電線製造方法	九、一一、七	工學士	赤平武雄
第一〇九六六號	粗殼より活性炭素を製造する方法	九、一一、一九	理學博士	深川信男

第二四九號	輕質鹽基性炭酸マグネシウム製造法	一〇、五、二九	理學博士 寺田喜代松
第二五〇號	球面體の熱間製造方法	一〇、七、八	小田耕介
第二七〇號	耐水研磨紙又は研磨布製造方法	一〇、七、三	理學博士 山口與平
第二七四號	防火塗料の製造法(追加)	一〇、六、三	工學士 小田良平
第二八二號	球面研磨裝置	一〇、七、一五	小田耕介
第二三八號	光學的音響記錄裝置	一〇、八、二	工學士 渡邊俊平
第二三六號	クロム鐵鍍又は酸化クロムとセメントルダスト又は製鐵高爐より排出するコックレルダストよりクロム酸加里を製造する方法	一〇、七、二六	工學士 尾間一彦
第二三七號	乾式アルミニウム電解コンデンサー	同	工學士 宮田聰
第二三九號	球體面の研磨裝置	同	小田耕介
第二三〇二號	穀類又は雜穀類を液化する方法	一〇、九、二	理學博士 磯部義甫
第二三〇五號	木材を油化する方	同	理學博士 磯部義甫
第二三九四號	耐油性ゴム製造法	一〇、九、九	農學博士 田中一彦 源 伊藤硯太郎 弘

第二〇八六號	音叉	一〇、一、三〇	理學博士 長岡半太郎
第二〇八九號	義足	一〇、二、一五	池邊常直
第二〇九五號	寫真用閃光板	八、二、一五	理學博士 中山治男
第二一四六號	光學的記錄裝置	一〇、四、五	工學士 渡邊俊平
第二一四九號	クラック軸の製造法	一〇、三、二九	工學博士 大河内正敏
第二二四〇號	稀薄濃度の鹽素瓦斯より鹽酸を製造する方法	一〇、四、五	工學博士 大河内正敏
第二二五二號	安定なる膠質燃料製造方法	一〇、四、一〇	理學博士 石川正敏
第二二五七號	膠質水酸化マグネシウム製造法	一〇、五、一〇	工學士 馬場駿彌
第二二五五號	自働調整轉子軸承	一〇、五、二二	理學博士 石川良平
第二二〇五號	流水管異狀腐蝕防止裝置	一〇、五、一四	工學博士 井口春久
第二二三八號	光學的音響記錄裝置(追加)	一〇、五、二	工學士 渡邊俊平
第二四九號	植物體より結晶ビタミンCを製造する方法	一〇、六、二一	農學博士 丸山捨吉
第二四九二號	赤色光線感光性色素RIIの製法	八、九、四	理學博士 尾形輝太郎

第二四八六號	配糖體の製造法	一〇、一〇、二五	工學士 穴戸圭一
第二四九七號	光學的音響記錄又は再生裝置	一〇、一一、八	工學士 田口泖三郎
第二四七〇號	アルミニウム又はアルミニウム合金を素地とする器物の塗漆法	一〇、三、一三	工學士 宮田聰
第二四七四號	重クロム酸加里製造法	一〇、一一、二七	尾間一彦
第二四七四號	球體又は丸棒研磨裝置	一〇、一一、二二	小田耕介
第二四九四號	配糖體の製造法	一〇、一一、一三	工學士 穴戸圭一
第二四九六號	熔融アルミナの製造法	一〇、一一、六	理學博士 鈴木庸生 工學士 田中喜代松
第二四九七號	感熱體の溫度差を利用せる液面調整裝置	同	工學士 長岡順吉
第二四九八號	酸化アルミニウムの結晶狀微粉製造法	一〇、一一、一三	理學博士 鈴木庸生
第二五〇八號	ミセル内膨潤を豫備操作とする纖維素のエステル化若はエーテル化豫備處理法	一〇、一一、二〇	理學博士 櫻田一六 工學士 淵野桂
第二五〇六號	石炭の液化法	一一、一、二九	理學博士 磯部甫
第二五〇七號	單相電動機	一一、一、八	工學博士 上田輝雄
第二五〇八號	ナフタリンを常壓の下に接觸的に還元してテトラリン又はデカリンを製造する方法	一一、二、三	理學博士 久保田勉之助 工學士 二木寧雄

第二五二二號	マグネシヤ乳製造法	一一、二、一四	理學博士 寺田喜代松
第二六〇七號	研磨用乳劑の製造法	一一、三、二	理學博士 鈴木庸生
第二六〇四號	本邦産琥珀處理法	一一、二、二八	工學士 赤平武雄
第二六〇六號	電氣機器の鐵心	一一、三、四	工學博士 上田輝雄
第二六二八號	有色透明體又は半透明體の撰別裝置	一一、三、九	工學士 赤平武雄
第二六四六號	點火栓	一一、三、一八	工學博士 野口孝重
第二六六三號	ペンタメチンシアニン色素の新製法	一一、四、一〇	理學博士 尾形輝太郎
第二六八四號	普通鋼又は軟鐵に工具鋼を熔接する裝置	一一、四、一	工學博士 大河内正敏 工學博士 大越諄
第二七三六號	強度のスペクトルを得る分光鏡規準裝置	一一、五、四	理學博士 長岡半太郎
第二七三九號	機械的振動を電氣的振動に變換する裝置	一一、四、二四	理學博士 磯部次甫 磯子島菊次
第二七九九號	クマロン系樹脂製造法	一一、七、八	理學博士 深川三庫 理學博士 崔悅
第二七九二號	造血劑製造方法	一一、六、一九	農學博士 鈴木梅太郎 醫學博士 中原文和郎 農學士 犬飼人
第二七九七號	電氣抵抗體製造法	一一、六、二九	理學博士 稻葉見敬

第二八二號	石炭液化法	一一、七、二四	理學博士 磯部 甫
第二八五號	醸造物に類似せる香氣を有する酒精飲料を製造する方法	一一、七、三	農學士 庄司謙次郎
第二八五號	點火栓	一一、八、一四	理學博士 野口 孝重
第二八五號	塗裝絶緣電線製造装置	同	工學士 赤平 武雄
第二八六號	肝臟より強力なる造血劑を製造する方法	一一、七、二七	醫學博士 中原 和郎 農學士 犬飼 文人
第二八六號	金屬盤用錄音針	一一、八、七	工學士 田口泖三郎
第二八六號	ビタミンAの純粹なる結晶性エステルを製造する方法	一一、七、二七	農學士 濱野 貞行
第二八六號	光學的錄音装置	一一、六、二六	工學士 渡邊 俊平
第二八六號	インターフェレンス、マイクロフォン	一一、九、二一	工學士 田口泖三郎
第二八七號	光學的錄音装置に於ける檢聽装置	同	工學士 渡邊 俊平
第二八九號	ビタミンAの純粹なる結晶性エステルを製造する方法(追加)	一一、七、二七	農學士 濱野 貞行
第二八九號	フォルムアルデヒド系縮合物製造方法(追加)	一一、八、二二	理學博士 深川 庫造 理學士 崔三 悦
第二八七三號	純粹なる苛性曹達又は加里の製造方法	一一、九、二	理學博士 芝 彦一
第二八三六號	圓錐形轉子軸承	一一、九、三〇	小田 耕介

第二九一六號	同時に多數の物體の周圍に加工する装置	一一、一〇、一四	工學博士 大河内正敏
第二九三五號	球面體の製造方法	一一、二、一七	小田 耕介
第二九三七號	ビタミンEの純粹なる誘導體の製造法	一一、一、一三	理學士 金 良 瑕
第二九四四號	中子の半型製造機	一一、一〇、二一	工學博士 大河内正敏 久須美 勳
第二九五號	普通鋼又は軟鋼製圓板の外周に環狀工具鋼を熔接する方法	一一、一、六	工學博士 大河内正敏 工學博士 大 越 諄
第二九六號	蓄音機	一一、一、七	工學士 田口泖三郎
第二九六八號	點火栓(追加)	一一、一、二五	理學博士 野口 孝重
第二九九九號	廻轉型直流高電壓測定装置	一一、一、二三	工學博士 本多 侃士
第二一〇一七號	動物の臟器より強心作用を有する成分を抽出する方法	一一、一、二九	農學士 田中 捷夫
第二一〇二一號	金屬板又は線の如き金属材料の電氣熔接方法	一一、一、二五	工學博士 大河内正敏
第二一〇五三號	感光性色素「イルミノール」V類の製法	一一、三、三	理學博士 尾形輝太郎
第二一〇五四號	眞空機用封緘劑の製造方法	一一、二、二六	理學士 鳩山 道夫
第二一〇六七號	圓錐管製造方法(追加)	一一、三、八	工學博士 大河内正敏
第二一〇七五號	球面研磨装置	一一、三、八	小田 耕介

第三五九號	真空電氣爐に於ける裝入物の連續供給裝置	一二、五、二一	工學博士	大河内正敏
第三九四號	球體測定選別裝置	一二、五、三一	工學博士	福井伸二
第三三三號	中子製造機	一二、六、二五	工學博士	小田耕介
第三三三九號	引抜工作用「ダイス」	同		
第三三三六號	熔融「アルミナ」製造法	一一、九、四		武部俊正
第三三三八號	内燃機關用「ピストン」の外表面仕上方法	一一、七、三〇	工學博士	大河内正敏
第三三四二號	鑄型外型製造機	一一、八、二	工學博士	大河内正敏
第三三六七號	研磨紙布製造方法	一一、二、二四		武部俊正
第三三六一號	直流電壓を測定する方法	一一、一〇、四	工學博士	西本健
第三四一六號	從動裝置	一一、八、一三	理學博士	池邊常刀
第三三七八號	天然産硫黄より殆ど純粹なる結晶態硫黄を採集する方法	一一、九、二四	理學博士	富永齊
第三三九四號	衝擊電壓波高測定裝置	一一、一一、一七	工學博士	本多侃士
第三四七九號	録音盤製造方法	一一、一二、一三	工學士	田口卯三郎
第三四八五號	動物の臟器より強心作用を有する成分を抽出する方法(追加)	一一、一、二四	農學士	田中捷夫

第三四八六號	聯動裝置	同		谷口和雄
第三四八七號	録音盤	一一、二、七	工學士	宮田聰
第三五三三號	螺軸移動及締止裝置	一一、三、七		神田要
第三五四二號	多相分捲整流子機	一一、一、二八	工學博士	上田輝雄
第三五八七號	「マグネチックチャック」を應用せる鉀型製造方法	一一、四、一三	工學博士	大河内正敏
第三五八八號	偏光計	一一、四、二五	理學士	田幸彦太郎
第三六〇三號	感光性色素「イルミノール」M類の製法	一一、五、一一	理學博士	尾形輝太郎
第三六四九號	蔬菜及果實の清澄無菌なる飲料液汁の製造法	一一、二、一四	サイエンス	内藤下彦次郎
第三六五〇號	果實酒製造法	一一、五、一三	同	輕部博二
第三六五九號	電氣點火栓	一一、六、一三	工學博士	野口孝重
第三六七七號	擴散真空唧筒用油	一一、一〇、六		福島政一
第三七六六號	動植物性油脂若は蠟の加水分解法	一一、七、六	工學博士	喜多源逸
第三七〇一三號	「ポリメチン」感光性色素の製造法	一一、七、一八	理學博士	尾形輝太郎

第三〇一四號	稀薄なる鹽素瓦斯處理法	一三、七、一五	理學博士	寺田喜代松
第三〇三七號	研磨紙布製造法	一三、七、二二		武部俊正
第三〇三八號	土壁材料の製造法	一三、八、一	理學博士	飯盛宇里安
第三〇三九號	衝擊電壓波高測定装置(追加)	一三、七、二九	工學博士	西田侃士健
第三〇四〇號	衝撃電壓波高測定装置(追加)	一三、七、二九	工學博士	本田侃士健
第三〇七五號	粘着性防蝕塗料	一三、八、三一	理學博士	稻葉見敬
第三〇七六號	高電壓計	一三、一〇、一〇	工學士	赤平武雄
第三〇七五號	防穢船底塗料(B)	一三、一一、五	理學博士	長田見敬
第三〇七六號	重水電解濃縮槽電極装置	同	工學博士	栗野口孝重
第三〇七七號	鉸其他硬粒鱗を有する魚皮より柔軟なる鞣革を製造する方法	一三、一一、一〇	理學博士	深川三庫造
第三〇七八號	「カーボンマイクروفोन」の電流密度を均整ならしむる装置	一三、一一、二八	工學士	田口泖三郎
第三〇八二號	水性瓦斯より段階的に石油を合成する方法	一三、一一、二五	工學博士	喜多源逸
第三〇八五號	秒測器	一四、一、一六	理學博士	池邊常刀
第三〇九四號	壓出機	一四、一、二五	工學博士	大河内正敏

第三〇八二號	電氣火花發生器	一四、二、一〇	理學博士	清水武雄
第三〇八九號	引抜工作用轉子「ダイス」	一四、一、三〇	理學博士	野邊清一郎
第三〇七六號	感光性色素イルミノールA _p 類の製造法	一四、三、一〇	理學博士	尾形輝太郎
第三〇七七號	タリウム硫黄感光電導層の製造法	一四、六、二七		淺居チカ
第三〇七八號	蒼鉛硫黄感光電導層の製造法	同	同	
第三〇七九號	「アンチモン」「セレン」感光電導層の製造法	同	同	
第三〇七〇號	「カドミウム」「セレン」感光電導層の製造法	同	同	
第三〇九五號	アルミナ鍍石處理法	一四、一、一六	工學博士	鈴木庸生
第三〇九六號	圓錐筒形尖頭を有し中空なる金屬製品の輻壓製造方法	一四、四、五		小田耕介
第三二四〇號	淡色酸化型アルキド樹脂製造法	一四、四、一五	理學士	秋田務
第三二七九號	塗料用フェノールアルキド混成樹脂製造法	一四、五、二三	同	
第三二八〇號	色彩寫眞撮影寫裝置	一四、五、一〇	理學士	田幸彦太郎
第三三五五號	減感劑イルミノールD類の製法	一四、六、一七	理學博士	尾形輝太郎
第三三五七號	感光性色素イルミノールA類の製造法	一四、六、七	理學博士	尾形輝太郎

第三三八三號	微粉末と粉粒とを分離する装置	一四、七、一二	武部俊正
第三八六號	鋭感氣壓計	一四、七、一五	理學博士 池邊常刀
第三二一九號	濃厚ビタミンB複合劑の製造法	一四、七、五	農學士 井上兼雄
第三三三號	同	同	同
第三三三三號	研磨紙布製造方法	一四、七、二九	武部俊正
第三四三號	屈折計型瓦斯濃度測定裝置	一四、八、八	工學博士 辻大島秀男
第三七五號	銅、錫、カドミウム及水銀よりなる合金アマ ルガム	一四、九、五	工學博士 田丸莞爾
第三九二號	還元鐵製造方法	一四、九、一一	工學博士 大河内正敏
第三九五號	耐水研磨紙布製造法	一四、九、二〇	工學士 武部俊正
第三九七號	衝擊電壓波高測定裝置	一四、九、五	工學士 伊藤喜八郎
第三四六九號	高級有機酸よりケトンの製造法	一四、八、一五	工學士 石黒美種
第三四三三號	高壓電位計	一四、九、二五	理學博士 清水武雄
第三四三五號	周波數により實効値の變化せざる高抵抗體	一四、一〇、三	工學士 赤澤正武
第三四三六號	同	同	工學士 赤平武雄

第三四三〇號	點火栓失火檢出方法	一四、一〇、一〇	工學士 岡崎三郎
第三四六一號	炭化水素の製造法	一四、一〇、三	工學博士 喜多源逸
第三四六三號	揮發油合成用觸媒の處理法	一四、一〇、三	工學博士 喜多源逸
第三四七〇號	含炭素物質より有用なる液態物質の製造法	一四、一〇、三	理學博士 北島三甫
第三四七〇號	電氣的振れ動力計	一四、一一、一八	工學士 磯部
第三五〇三號	四エチル錫の製造法	一四、一一、二五	工學士 常多源逸
第三五〇四號	ビタミンB複合體の成分なる抗皮膚炎因子 ビタミンB ₆ の結晶を製造する方法	一四、一一、二八	工學士 喜多源逸
第三五〇五號	トリウム含有蓆酸稀土類の處理法	一四、一二、二	農學士 喜多源逸
第三五九七號	高速度回轉寫眞機	一四、一二、一五	農學士 飯盛里安
第三六〇八號	錄音盤の製造法	一二、四、二	工學博士 辻二郎
第三六〇八二號	再生ゴムより純ゴム分を抽出する裝置	一五、三、一八	工學士 宮田聰
第三六四六號	乾餾により石油に類似せる油の製造方法	一五、二、一〇	理學博士 磯部甫

第三七五號	ハイドロキシルアルキルピリジン類とチアゾール類との直接縮合することによりオリザニン類を合成する方法	一四、六、三〇	農學博士 佐橋佳一
第三七〇五號	アセチレン系炭化水素の部分的酸素化によりエチレン系炭化水素を製造する方法	一五、六、二二	理學博士 山久保田勉之助
第三七〇一六號	アセチレン系炭化水素の部分的酸素化によりエチレン系炭化水素を製造する方法	一五、六、二二	理學博士 山中龍雄
第三七〇一七號	複合疲勞試験機の荷重装置	一五、三、一五	工學博士 黒田正夫
第三七〇一四號	乾式冷凍機用蒸發器の改良	一五、三、三〇	工學士 長岡順吉

口、滿洲國特許

特許番號	名	稱	特許年月日	發明者
第二九二號	石炭の液化法		四、六、一五	理學博士 磯部甫
第四六二號	「マグネシウム」電解装置		四、一〇、二八	工學博士 大河内正敏
第四九〇號	「アルミニウム」又は其合金の部分的着色方法		四、一二、三	工學士 宮田聰
第四九二號	純「アルミナ」の製造法		四、一二、三	理學博士 栗田中庸
第四九二號	「アルミニウム」若くは「アルミニウム」を主とする軽合金の防蝕皮膜の製法		四、一二、三	工學士 宮田聰
第五一五號	無水鹽化「マグネシウム」の製造法		四、一二、一	工學士 田中寬
第五一六號	含水鹽化「マグネシウム」より「マグネシウム」電解質を製造する方法		四、一二、一	今富祥一郎

第五一七號	「マグネシウム」電解装置	四、一二、一	理學博士 今富祥一郎
第五一六號	純鹽化「マグネシウム」製造法	四、一二、一	理學博士 鈴木庸生
第五一六號	含水鹽化「マグネシウム」より「マグネシウム」電解質を製造する方法	四、一二、一	尾間富祥一彦
第五一七號	「チタニウム」を含有する粘土類又は「チタニウム」を含有する「ボークサイト」或は「チタニウム」及之等を含有する粘土類より「アルミナ」を製造する方法	四、一二、一	理學博士 鈴木庸生
第五一七號	熔融「アルミナ」の製造法	四、一二、一	理學博士 鈴木庸生
第五一七號	輕質鹽基性炭酸「マグネシウム」製造法	四、一二、一	理學博士 寺田喜代松
第五一七號	「アルミニウム」又は「アルミニウム」合金を素地とする器物の塗漆法	四、一二、一	工學士 宮田聰
第五一七號	「ベンゾール」の酸化により「マレイン」酸を製造する方法	四、一二、一	農學博士 藪田貞治郎
第五一七號	同	四、一二、一	農學博士 藪田貞治郎
第五一七號	同	四、一二、一	農學博士 下瀬六郎
第五一七號	輕質斷熱材製造法	五、一、五	理學博士 寺田喜代松
第五一七號	清酒代用飲料製造法	五、一、五	農學博士 鈴木梅太郎

第583號	法 林檎酸曹達を含有する醬油類の調味料製造	五、一、五	農學博士 下瀬林太
第584號	β(10)「オキシカンフア」の製造法	五、一、五	農學博士 青山伊佐男
第585號	「アルミニウム」若くは「アルミニウム」合金の防水性電氣絶縁及防銹皮膜の製法	五、一、五	農學博士 佐橋佳一
第607號	明室映寫幕	四、一、一七	農學博士 武内邦次
第645號	「アルミニウム」塗漆盆	五、一、二七	農學博士 伊木常安
第646號	寫音盤	五、一、二七	工學士 宮田聰
第647號	撮音盤	五、一、二七	久保久治
第650號	「アルミニウム」塗漆辨當箱	五、一、二七	同
第655號	乾式「アルミニウム」電解「コンデンサー」	五、二、七	工學士 宮田聰
第666號	塗裝絶縁電線製造法	五、二、七	工學士 赤平武雄
第693號	日本産琥珀塊處理法	五、二、二五	同
第886號	石炭液化法	五、九、二〇	理學士 磯部甫
第944號	塗裝絶縁電線製造裝置	五、二、一五	工學士 赤平武雄

五〇

第607號	白晝映寫幕	五、八、一〇	理學博士 清水武雄
第289號	微粒原料搾油機	六、一〇、二一	理學士 島本鶴造
第297號	微粒原料より抽出及壓搾兩方法を併用して採油する裝置	六、二、二七	同 鈴木忠治郎
第344號	採油方法	七、三、二七	同
第345號	製油原料處理法	同	同
第394號	採油方法	七、四、三〇	同
第395號	製油裝置	同	同
第396號	壓搾筒	同	同

八、外國特許

特許番號	名	稱	特許年月日	發明者
佛國 第五三九九號	瓦斯採集法		一九三、三、一〇	理學博士 池田菊苗 岡澤部 鶴治
墨國 第三三九〇號			二三、八、一〇	同
英 第二七九五號			二三、八、三〇	同
墨國 第二六六七號			二六、一一、一五	工學博士 大河内正敏
佛國 第六六〇二號			二七、五、二	同
墨國 第二七〇七號			二七、四、一九	同
英 第二八五四號			二七、一二、二九	同
米國 第一七二〇三號			二九、七、一六	同
獨逸 第五三三三號			三一、八、二二	同
佛國 第五五九七號	空氣乾燥法		二三、二、一〇	理學博士 池田菊苗 岡澤部 鶴治
英 第二六一九號			二三、一〇、二九	同

加奈太 第二四四三〇號	同		二四、一一、一一	同
米國 第一五二四號	同		二五、六、九	同
米國 第一六三〇六號	同		二七、五、三一	同
米國 第一七〇三二號	コロイド狀物質の濕分吸着力を増大する方法		二九、一二、一七	理學士 磯部 甫
濠洲 第一三〇一八號	ビタミンA抽出法		二三、六、二一	農學博士 高橋 克己
印度 第五五號	同		二三、八、三	同
佛國 第五六九五號	同		二三、一一、二六	同
英 第三〇六七號	同		二四、八、一四	同
瑞西 第一〇三九號	同		二四、八、一六	同
加奈太 第二四元〇一號	ビタミンA射出法		二四、九、九	同
那威 第四四七二號	同		二五、六、一五	同
伊太利 第三〇五六號	同		二五、七、二八	同
瑞典 第六四七號	同		二六、七、八	同
米國 第一六〇九五號	同		三〇、一二、二三	同

英 第三五〇四號	佛 第五九四一六號	獨 第四八三九號	米 第一七四六二號	佛 第五四〇四號	英 第二四七二號	米 第一六四三號	獨 第四七五五號	米 第一六四三號	米 第一七四二號	佛 第五九〇八〇號	英 第三六五六號	米 第一七五八六號	米 第一七五〇九號
電磁天秤	同	同	同	ウルトラジシ製法	同	同	同	同	遮光透鏡	アルミニウム防銹法	同	同	同
二五、五、二八	二五、二、二〇	二七、八、一三	二九、六、一八	二四、一、九	二五、一、一八	二八、九、一八	二九、一、一四	三〇、六、二四	三〇、七、二九	二五、三、二六	二五、一〇、八	二九、一、一二	同
理學博士 長岡半太郎	同	同	同	理學士 鈴木庸生	同	同	同	同	同	工學博士 鯨井恒太郎	同	同	工學士 瀬藤象二

米 第一五四三號	英 第三四六號	佛 第六二二〇號	獨 第四八四九號	米 第一七四〇三號	英 第三四四號	海峽殖民地 第六七號	シヨホール 第四二七號	濠洲 第四八〇號	加奈太 第三六八〇號	米 第一七四六六號	加奈太 第一八三三三號	英 第三〇〇六號
電解鐵	水銀燈	同	同	同	テリス	同	同	同	同	同	テリス(粉末)	同
二六、四、二七	二六、五、六	二五、一、三〇	二九、一〇、八	二九、一、二七	二六、五、六	二六、五、二〇	二七、三、一六	二四、九、八	二八、四、二四	二九、八、一三	二九、三、二六	二九、一、一八
工學博士 大河内正敏	理學博士 長岡半太郎	同	同	同	農學士 武居三吉	同	同	同	同	同	農學士 大堀俊雄	同

獨逸 第四三三號	同	二八、七、七	同
米國 第一七〇五號	同	二九、三、一九	同
瑞西 第一〇五〇號	同	二八、二、一五	同
英國 第一〇二七號	同	二七、一一、一四	工學博士 大河内正敏
佛國 第一〇九五號	同	二七、一一、九	同
英國 第一八八五號	同	二八、四、一九	同
米國 第一九八〇號	同	二九、一、八	同
米國 第一七〇五號	同	三〇、五、二七	同
獨逸 第一七〇五號	同	三三、一、二五	同
獨逸 第一七〇五號	同	三三、三、三一	同
佛國 第一六三〇號	フルフラール	二六、一〇、三〇	農學博士 藪田貞治郎
英國 第一五八七號	同	二七、一、二七	同
米國 第一七〇五號	同	二九、四、一六	同
獨逸 第一七〇五號	同	二八、二、一五	同

濠洲 第一五七號	デリス (粉末)	二九、七、二四	農學士 大堀俊雄
和蘭 第一七二六號	同 (同)	三二、二、一六	同
英國 第一八七七號	デリス (液狀)	二八、一、二九	農學士 大堀俊雄
加奈太 第一八三三號	同 (同)	二九、三、二六	農學士 中澤清雄
米國 第一七五九七號	同 (同)	三〇、二、四	同
佛國 第一七九一號	同	二六、一、三〇	工學博士 大河内正敏
英國 第一八〇四號	同	二七、一〇、三	同
米國 第一八〇四號	同	二八、四、一七	同
英國 第一八八三號	同	二八、四、一九	工學博士 大河内正敏
佛國 第一八三六號	同 (同)	二七、一〇、二五	同
獨逸 第一八三三號	同 (同)	二九、六、一九	同
米國 第一八四九七號	同 (同)	三二、五、一五	同
佛國 第一八四九七號	同	二七、六、二七	工學博士 大河内正敏
英國 第一八四九七號	同	二七、一一、一〇	同

佛 第六四三二號	瑞 第五二七號	米 第一七九四號	獨 第五三〇九號	瑞 第三六四號	英 第二九四七號	伊 第五六四號	佛 第三七四九號	米 第一七五七號	米 第一七〇三五號	墨 第二七〇七號	獨 第三三三三號	那 第五七〇一號	瑞 第七八七號
膜面	同	同	同	同	同	同	內燃機關の含氣噴油方法及裝置	樹脂を原料とする新有機劑の製法	同	瓦斯屈折計	同	同	同
二八、八、一四	三二、九、六	三一、三、三一	三〇、一、一	二九、四、三〇	二八、九、七	二八、七、二〇	二八、一、三〇	二八、七、三	三〇、七、八	二七、一、一一	三六、八、二七	三三、六、二六	三一、八、一三
理學博士 鈴木庸生	同	同	同	同	同	同	工學博士 大河内正敏	理學博士 飯盛里安 鈴木鑛二	同	理學士 土井不疊	同	同	同

米 第一六五四號	伊 第六三九號	英 第八四二號	瑞 第三六七號	佛 第三六七號	白 第三四二四號	米 第一八八三號	獨 第五八六號	獨 第五一九四號	英 第二八四八號	伊 第五九二號	佛 第六八三號	墨 第七四號
同	同	同	同	同	純アルミナ	同	トウイストドリル	同	同	同	切削力測定裝置	カーボンブラック
三〇、一、一六	二九、三、二九	二八、一〇、二九	二九、一、二	二八、二、七	二七、八、三一	三三、一、二〇	三一、七、一	三三、二、一	二八、二、九	二七、一、一	二七、七、一一	二七、五、二三
同	同	同	同	同	理學博士 鈴木庸生 工學士 栗田寅雄	同	工學博士 大河内正敏 大越諄	同	同	同	工學博士 大越諄	理學士 磯部甫

佛 第七〇三〇號	米 第二〇四三號	和 第四五九號	英 第四九〇八號	佛 第七三三九號	加 第三三三三號	米 第二〇三六〇號	チ 第四九三六號	米 第一九四八號	加 第三六五七號	伊 第三〇三六號	瑞 第一六五〇一號	白 第三八五二六號
β(10)アボカンフアー(1)アルデハイドの製法	音響記録法	同	同	同	同	閃光板	同	同	同	同	同	同
三五、九、二	三五、六、一一	三七、八、一七	三五、一一、二七	三五、九、二一	三五、七、二	三五、六、四	三四、一、五	三四、一、九	三三、一〇、二四	三三、五、一	三三、一、一一	三三、一、九
農學士 伊木常安	農學士 佐橋佳一	同	同	同	同	理學博士 山口與平	同	同	同	同	同	同

佛 第七九〇四號	英 第六六一號	米 第一九〇三五號	米 第一七四三號	米 第一九三〇五號	米 第一九七九六號	加 第三〇五五號	英 第二九〇五五號	佛 第六五〇八號	獨 第五四四〇號	米 第一九六九三號	米 第一八八四九號	伊 第二七〇五三號	英 第二八二三五號
同	明室映寫幕	無水鹽化マグネシウム	回收護膜	同(分割)	同	同	同	陽畫感光紙	同	同	同	同	膜面
三三、五、二	三三、六、八	二九、五、二八	三三、三、二一	三四、一二、四	三四、八、二八	三〇、一一、一八	二九、六、二七	二八、一〇、一六	三四、二、一〇	三三、九、一二	三三、一二、二〇	三〇、一、二四	二九、四、二五
同	理學博士 清水武雄	工學士 今富祥一 田中寬	同	同	同	同	同	理學博士 櫻井季雄	同	同	同	同	理學博士 鈴木庸生

二、實用新案

登録番號	名	稱	年月日	考案者
佛國 第八三〇九號	乾餾により石油に類似せる油を製造する法		三九、一一、一八	理學博士 磯部 甫
伊太利 第七三三三號	揮發油合成用鐵觸媒の製法		三九、五、二二	工學博士 喜多 源逸
米國 第三六八六號	錄音盤		三九、八、八	工學士 宮田 聰
伊太利 第七三六八號	乾餾により石油に類似せる油を製造する法		三九、八、一	理學博士 磯部 甫
佛國 第八四六二號	火花繼電器		三九、六、一二	理學博士 清水 武雄
加奈陀 第七九四號	錄音盤		三九、三、七	工學士 宮田 聰
米國 第三三三三號	活動寫眞映寫機に於ける「フィルム」捲返し不要装置		三八、一一、一	理學博士 清水 武雄

英國 第四九二三號	同		三八、七、二〇	同
佛國 第八一九〇號	活動寫眞映寫機に於ける「フィルム」捲返し不要装置		三七、一〇、二二	理學博士 清水 武雄
米國 第二〇三三四號	同		三七、一一、二一	同
英國 第四三三九〇號	同		三七、六、一七	同
英國 第四三三七號	塗裝絶緣電線製造及裝置		三六、一一、三	工學士 赤平 武雄
獨逸 第六五〇六七號	法 B(10)「アボカンフアー」(1)「アルデハイド」の製		三九、三、一七	農學博士 佐橋 佳一 農學士 島本 鶴次 農學士 竹内 邦次 農學士 伊木 常安
米國 第二〇八四六號	同		三七、六、二九	同
英國 第四三六二號	同 (分割)		三六、一一、一〇	同
英國 第四三九九號	B(10)「アボカンフアー」(1)「アルデハイド」の製法		三六、一一、一〇	農學博士 佐橋 佳一 農學士 武内 邦次 農學士 島本 鶴次 理學士 伊木 常安

第八一九號	家庭用乾燥器 A	一三、四、二一	理學博士	池田菊苗
第八二〇號	同 B	同	同	岡澤部鶴治
第七〇七號	眼鏡	一四、九、一七	理學士	櫻井季庸
第九〇六號	組合透鏡	一四、一二、二二	同	小野忠五郎
第三〇八七號	注射液用保温瓶	一五、九、二三	同	今富祥一郎
第二三九〇號	廣告燈	昭和 三、二、二一	工學士	田中寬
第二八四七號	陽畫製造裝置	三、六、二七	理學士	石動弘
第二五五七號	直接撮影用包裝感光紙 A	三、七、二六	理學博士	飯盛里安
第二五五〇號	同 B	同	同	石動弘
第三三六六號	管型電氣放熱體	三、一一、一八	工學士	瀬藤象二
第二五七五號	感光紙現像裝置	四、二、一二	同	櫻井季庸
第二五七〇號	同	同	同	渡邊徳太郎
第二六七九號	陽畫製造裝置	四、四、二五	理學士	石動弘

第三四七四號	寫真機用反像鏡	四、一〇、三一	理學博士	飯盛里安
第三六三三號	ネオン管を利用しミリアンメーターの目盛にて光度を読み取る光度計	五、二、七	工學士	田口泖三郎
第一四九六號	ビストンリング等のギャップを切削する裝置	五、九、三	工學博士	大河内正敏
第一四九六號	螺錐の螺旋溝研磨裝置	五、一〇、一五	工學士	大越諄
第一四九六號	石油の精製と同時に破壊乾溜を行ふ裝置	六、一、二八	工學博士	大河内正敏
第一五四三號	陽畫感光紙のフモニヤ現像器	六、三、一七	アマスター アソフ	渡邊政徳
第一五五七號	寫真現像用暗室照明裝置	六、四、一五	理學博士	鈴木庸生
第一五九九號	電流制限器	六、一一、五	工學士	瀬藤象二
第一六五三號	自働停止小枠廻轉裝置	七、五、二〇	中松川房吉	中松川房吉
第一六九三號	陽畫感光紙の現像裝置	七、六、三〇	理學博士	櫻井季庸
第一六九三號	線材引拔裝置	七、八、四	工學博士	大河内正敏
第一六九五號	製絲碎傳動用革寄裝置	七、八、五	中松川房吉	中松川房吉

第一七六六號	多條線絲機絡交裝置用絲誘導裝置	八、五、二	工學博士 アマノオノ	大河内正敏
第一七六七號	吸着劑	同	理學博士 アマノオノ	磯部鶴治
第一七九七號	最高電壓値測定裝置	八、五、二三	工學博士	西塚清健
第一八五五號	消音裝置を設けたる送風機	八、七、一〇	工學博士 アマノオノ	大河内正敏
第一八五三號	含水マグネシウム電解質乾燥裝置	八、一〇、一九	工學博士	大河内正敏
第一八五四號	同	同	同	同
第一八四四號	不良高壓碍子檢出器	同	工學博士	西健
第一八二〇號	撮音盤	八、一二、一六		久保久治
第一九〇三號	護謨板狀體	九、一、一二		横山達一
第一九四〇號	交番電壓波高測定裝置	九、二、七	工學博士	清水孫太郎
第一九四二號	同	同	同	山崎千秋
第一九四三號	同	同	同	本多侃士
第一九四三號	ビストンリング等の素材取付裝置	同	工學博士 アマノオノ	大河内正敏
第一九四三號	同	同	同	渡邊政徳

第一六八六號	無心棒線絲小粹	七、九、一二	工學博士 アマノオノ	大河内正敏
第一九九三號	無心棒線絲小粹を有する線絲裝置	七、一〇、一一	同	渡邊政徳
第一七〇七號	寫音盤	七、一〇、一五		久保久治
第一七〇三號	無心棒線絲粹	七、一〇、一一		中福昌房
第一七四九號	自働索緒裝置	七、一一、二二	同	松本昌三
第一七六〇號	無心棒線絲小粹	七、一一、二八	工學博士 アマノオノ	大河内正敏
第一七四三號	軸承裝置	八、二、七	同	同
第一七四三號	軸承	同	同	同
第一七四三號	線絲鍋	八、二、二三		松本昌三
第一七四四號	金屬又は合金粉末製造裝置	八、三、一四	理學博士	中福昌房
第一七三六號	放射能測定機	八、四、一三	理學博士	飯盛里安
第一七六四號	接緒器	八、四、二〇		松本昌房

第一九〇四號	ピストンリング等の内面研磨機	九、二、七	工學博士 マズダ・オノ	大河内正敏
第一九三六號	複合ミリングカッター	九、三、二七	工學博士	大河内正敏
第二〇〇三號	「ピストンリング」等の仕上工作機械	九、一〇、三〇	工學博士	大河内正敏
第二〇二六號	アルミニウム塗漆盆	九、一二、一八	工學士	久須美勳
第二〇三四號	水銀孤光燈	一〇、一、一六	理學博士	福田聰
第二〇三四號	大型工作物の旋削装置	一〇、二、一八	工學博士	大河内正敏
第二〇四〇五號	大型工作物の穿孔装置	一〇、二、一八	同	
第二〇四八七號	保温又ハ保冷装置	一〇、二、二五	工學博士	井口春久
第二〇四八〇號	交番電圧波高測定装置	一〇、二、二五	工學博士	西多健
第二〇七三號	保温又ハ保冷装置	一〇、四、二七	工學士	長野健
第二〇八四七號	アルミニウム塗漆辨當箱	一〇、六、一	工學士	宮田聰
第二一五九號	環又は筒の内周仕上工作機械	一〇、八、二四	工學博士	大河内正敏
第二一五三號	油類を使用する真空唧筒	一〇、八、二四		福島政一

第二四六一號	高電氣抵抗體 (A)	一〇、一〇、二二	工學士	赤平武雄
第二四六二號	同 (C)	一〇、一〇、二二	同	
第二四四五號	フィルム自動現象装置	一〇、一〇、二三	理學士	石動弘
第二四九六號	交番電圧波高測定装置	一〇、一一、二	工學博士	西多健
第二四九六號	塗裝絶縁電線自動検査装置	一〇、一一、四	工學士	赤平武雄
第二七八七號	塗裝絶縁電線製造装置に於ける局部塗裝々置	一〇、一二、二四	工學士	赤平武雄
第二七九九號	同	一〇、一二、二七	同	
第二八〇四號	唧子機關の出力指示装置	一一、一、二一	工學士	長岡順吉
第三二八六號	球面研磨装置	一一、四、八		小田耕介
第三三四五號	電氣抵抗器の端子 (A)	一一、四、一七	工學士	赤平武雄
第三三四七號	同 (B)	一一、四、一七	同	
第三四七三號	録音用グローランプ	一一、五、二九	工學士	田口泖三郎
第三七四四號	圓形蓄音機に於ける音譜盤支持装置	一一、九、七	工學士	田口泖三郎
第三七四四號	濾光器付雙眼鏡	一一、一一、二〇		木田徳義

第三四三號	錄音切込腕送り傳達装置	一一、一一、二〇	工學士	田口柳三郎
第三〇三號	電氣機器鐵心冷却装置	一一、一、六	工學博士	渡邊精一
第三四二號	吸入器	一一、二、三		桑鶴實
第三四一號	集光電球	一一、二、三	工學士	田口柳三郎
第三四〇號	環狀物體の兩面研磨機	一一、二、二	工學博士	大河内正敏
第三三九號	鑄型成形臺	一一、二、二	工學博士	大河内正敏
第三三七二號	内燃機關用ピストンのヒートブレードクホール開穿機	一一、三、一八	工學博士	大河内正敏
第三三七三號	調帯綴合装置	一一、三、一八		小田耕介
第三三七四號	内燃機關用「ピストン」の「スカート」切截機	一一、三、一八	工學博士	大河内正敏
第三六五號	圓形蓄音機	一一、四、五	工學士	田口柳三郎
第三六三號	光學的錄音装置に於ける遮光装置	一一、五、二〇	工學士	渡邊俊平
第三八〇七號	旋盤等に内燃機關用「ピストン」を固定する装置	一一、六、四	工學博士	大河内正敏
第三八〇八號	内燃機關用「ピストンボス」油孔明機	一一、六、四	同	
第三八〇九號	断面圓形をなせる針金又は鋳の如き被研磨體の研磨装置	一一、六、四	工學博士	大河内正敏

第三八八號	唧子の如き有頭圓筒體の固定機構	一一、六、二一	工學博士	大河内正敏
第三八八號	圓筒體を固定する機構	一一、六、二一	同	
第三八八號	受信用真空管	一一、六、二一	工學士	赤平武雄
第三八八號	「ピストンリング」嵌込用溝切機	一一、六、二一	工學博士	大河内正敏
第三八八號	受信用真空管用「ソケット」	一一、六、二一	工學士	赤平武雄
第三八八號	油孔開穿機	一一、六、二一	工學博士	大河内正敏
第三八八號	真空電弧爐装置に於ける電極調節装置	一一、六、二一	工學博士	大河内正敏
第三八九號	ストレイン・メーター	一一、七、一	工學博士	辻二郎
第三九四七號	「ガジヨンピン」孔の面取機	一一、七、二	工學博士	大河内正敏
第三九四七號	蓄音機の「アーム」軸	一一、七、二	工學士	田口柳三郎
第三九四七號	精密機器の取付装置	一一、七、二		山本光雄
第三九四七號	「ピストン」の側面切削機	一一、七、二	工學博士	大河内正敏

第二四〇三號	熱絶縁材	一一、八、一三	工學士	長岡順吉 渡邊寅久 佐藤嘉久 矢代
第二四〇六號	同	一一、八、一三	同	
第二四〇七號	同	一一、八、一三	同	
第二四一八號	濾光器付双眼鏡に於ける濾光體支持裝置	一一、九、一三		木田 德義
第二四一九號	横型眞空電氣抵抗爐	一一、九、一三	工學博士	大河内正敏 福井伸二
第二四二〇號	研磨布製造裝置に於ける研磨材吹着裝置	一一、九、二四		中野 義雄
第二四二一號	眞空電弧爐	一一、一〇、六	工學博士	大河内正敏 福井伸二
第二四二二號	内部に流體の流る、傳熱管	一一、一〇、七	工學士	長岡順吉 渡邊寅久 矢代
第二四二三號	携帯蓄音機	一一、一〇、七	工學士	田口 柳三郎
第二四二四號	流體量調節器	一一、一〇、七		上野 正一 星野 正士
第二四二五號	研磨布製造裝置に於ける乾燥裝置	一一、一〇、七		中野 義雄
第二四二六號	流動體塗着裝置	一一、一一、一一		武部 俊正

第二四九八號	「ピストン」油溝油孔明機	一一、一一、八	工學博士	大河内正敏 鈴木原弘
第二四九五號	光學的錄音裝置に於ける慣性轉輪の自動整調裝置	一一、一一、七	工學士	渡邊 俊平
第二四九六號	鑄物砂の溫度測定裝置	一一、一一、二四		山岸 勳
第二四九七號	「マグネシヤ」焼成爐	一一、一一、二四	工學博士	大河内正敏
第二四九八號	内燃機關用「ピストン」變形仕上機	一一、一一、二三	工學博士	大河内正敏 鈴木原弘
第二四九九號	傳動裝置	一一、九、一六	工學士	宮部 甫
第二五〇〇號	動力瓦斯發生爐の爐底部	一一、一〇、二五		上島 正士
第二五〇一號	動力瓦斯發生裝置に於ける熱交換裝置	一一、一〇、二五	同	
第二五〇二號	製油裝置	一一、一一、一	理學士	島本鶴造 橋本太造 鈴木忠治郎
第二五〇三號	微粒原料より抽出及壓搾兩方法を併用し採油する裝置	一一、一一、一	同	
第二五〇四號	錄音兼再生機に於ける針移動裝置	一一、一一、二	工學士	宮田 隆雄 津村 重隆 守山 重隆
第二五〇五號	錄音裝置	一一、一一、二	工學士	田口 柳三郎 渡邊 精一郎
第二五〇六號	回轉型電壓測定裝置(A)	一一、一一、二	工學博士	本多 侃士

第6071號	回轉型電壓測定裝置(B)	一三、一二、一三	工學博士 本多 侃士
第6072號	複式回轉型電壓測定裝置	一三、一二、一三	同
第6165號	微粒原料搾油機	一四、一、一〇	理學士 島本 鶴造 橋本 鍋太郎 鈴木 忠治郎
第6166號	同	一四、一、一〇	同
第6444號	金屬板製容器	一四、二、二八	六角 紫水
第6447號	活動寫真映寫機に於けるフィルム捲返し不要裝置	一四、三、二	理學博士 清水 武雄
第6554號	氣體濾過器	一四、三、二五	上島 正士
第6636號	搾油機	一四、四、八	理學士 島本 鶴造 橋本 鍋太郎 鈴木 忠治郎
第6666號	ピストンヘッド仕上機	一四、四、一七	工學博士 大河内 正敏 鈴木 原弘
第6766號	流體壓應動瓣裝置	一四、四、一七	上島 正士
第6777號	捲煙草ケース	一四、三、九	佐々木 松助
第6771號	自動壓搾機	一四、五、三	理學士 島本 鶴造 橋本 鍋太郎 鈴木 忠治郎



第6779號	「フィルム」等の乾燥又は陽晝感光紙の瓦斯現像に用ふる處理裝置	一四、五、五	理學博士 佐々木 六郎 芝田 龜吉
第6833號	カッター停止裝置	一四、五、二四	工學博士 上田 輝雄 長壁 平雄
第6862號	内燃機關用ピストンの外面仕上旋盤に於ける工具臺摺動裝置	一四、六、一	工學博士 大河内 正敏 鈴木 原弘
第6882號	自動壓搾機	一四、七、一	理學士 島本 鶴造
第7014號	歪計取付裝置	一四、七、一〇	工學博士 辻 二郎
第7070號	錄音及音響再生兼用機に於ける切込腕驅動裝置	一四、七、二一	工學士 田口 柳三郎 渡邊 精一郎
第7076號	瓣裝置	一四、七、二一	理學博士 磯部 甫
第7332號	比較測長器	一四、八、二九	松村 公亨
第7333號	同	一四、八、二九	同
第7385號	内燃機關用電氣點火栓	一四、八、二九	工學博士 野口 孝重
第7615號	マイクروفオン	一四、九、二三	工學士 宮田 聰 津村 重雄 守山 隆
第7636號	電氣器具の接觸兼保持器	一四、九、二五	工學士 赤田 武雄 成田 榮次
第7777號	エキゾーストブロー	一四、一一、八	上島 正士

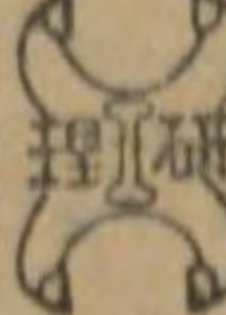
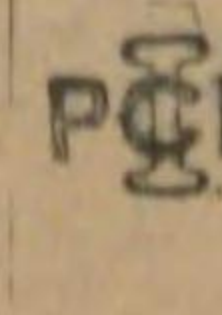





第 二 六 四 九 號	閃光板	一四、一一、二二	鶴野正方 伊藤瀧太郎
第 二 六 四 九 號	同	同	同
第 二 七 五 八 號	壓縮機軸封裝置	一四、一二、一三	工學士 長岡順久 矢代嘉久 高橋武夫
第 二 七 五 九 號	同	同	同
第 二 七 八 〇 九 號	閃光袋	一四、一二、二七	伊藤瀧太郎
第 二 七 八 三 號	不純マグネシウム又は其他のマグネシウム含有材料よりマグネシウムを蒸餾する装置	一五、一、二〇	工學博士 大河内正敏 福井伸二
第 二 八 〇 七 五 〇 號	録音兼再生機に於ける針端壓力變更裝置	一五、二、二七	工學士 宮田聰
第 二 八 〇 七 五 一 號	可變抵抗器	同	工學士 赤平武雄
第 二 八 〇 七 五 二 號	回轉窯	同	工學博士 大河内正敏
第 二 八 〇 七 五 三 號	回轉圓盤支持金具	同	吉田捷三 森光三郎
第 二 八 三 七 〇 號	高速度回轉寫真機	一五、三、一二	工學博士 辻二郎

第 二 八 三 九 號	渦形溝削成裝置	一五、三、一三	工學博士 大河内正敏
第 二 八 六 四 號	壓縮機の軸封裝置	一五、四、八	工學士 長岡順久 矢代嘉久
第 二 八 五 九 號	録音盤	一五、四、二六	工學士 宮田聰
第 二 八 六 〇 二 號	可變抵抗器	同	工學士 赤平武雄
第 二 八 六 一 五 號	材料試験機	同	工學博士 黒田正夫
第 二 八 四 七 號	寫真シャッターを起動し且閃光器に着火する装置	一五、五、一四	伊藤瀧太郎
第 二 八 四 六 號	生苦汁より苦汁固形物を製造する装置	同	工學博士 大河内正敏
第 二 八 四 五 號	圓板式録音機に於ける導電裝置	同	工學士 田口柳三郎 渡邊精一
第 二 八 七 五 〇 號	閃光體ホルダー	一五、七、一〇	伊藤瀧太郎


商標


登録番號	名	稱	類別	年月日
第一〇八二四號	CAMPHORAL		第一類	大正八、一〇、一八
第一六四六四號	Biosterol		同	一四、一、一四
第一六四六五號	Biosterin		同	同
第一六六八二號	Lepilite		第二類	一四、三、五
第一六六八三號	同		第十三類	同
第一七七六九號	理研		第一類	一四、七、一五
第一七二八四號	Ultrazin	ウルトラジン	同	一四、八、一一
第一七四〇九號	Ceramocol	ケラモコール	同	一四、一二、二三
第一八三三七號			第二十類	一五、一〇、六
第一八六六六號	同		第六十九類	一五、一二、一
第一八七六七號			第十八類	昭和二、二、一七


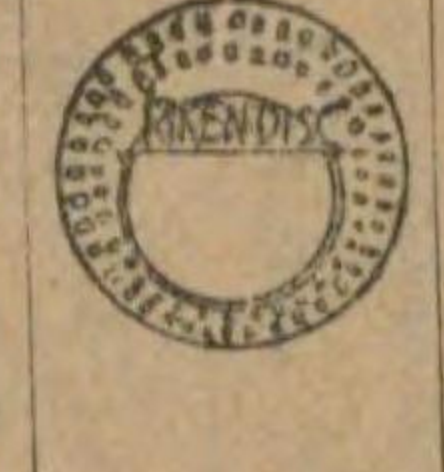
第一八六二三號	アドソール		第十四類	二、三、三二
第一八六一四號	adsole		同	同
第一九〇六九號			第十七類	二、五、九
第一九二五八號	Delica	デリカ	第四十五類	二、六、一四
第一九四九七號			第十八類	二、一二、五
第一九四九五號			同	同
第一九四九九號			第十二類	二、一二、六
第一九五七三號			第六十八類	三、一、一二
第一六七九四號	祖國		第三十八類	三、二、一七
第二〇〇〇九號	理研		第四十一類	四、二、一三
第二〇一六號	RIKEN 理研		第六十九類	四、五、一一

第三九四三號	同	第一類	四、一、二、三
第三九〇一號	同	第四十五類	五、一、一、一〇
第三八五九號	ALMITE アムイテ	第一類	六、五、二〇
第三七九六號	理研	第四十五類	六、五、二一
第三六五七號	同	第四十五類	六、五、二二
第三五二八號	同	第七類	同
第三五一九號	同	第四十五類	六、七、六
第三四九七號	同	第六十九類	同
第三四四七號	理研	第四十三類	六、七、二八
第三三九二號	同	第四十七類	同
第三三〇一號	同	第五十一類	六、九、二五
第三二四四號	ALMITE アムイテ	第十七類	同
第三二〇二號	同	第二十七類	六、一、一、一〇
第三一〇九號	同	第十八類	七、二、一、三
第三〇五二號	同	第六十九類	七、三、一、三
第三〇〇九號	同	第六十三類	七、四、四
第二九四六號	同	第七十類	七、五、二二
第二八七五號	理研 Riken	第五類	九、一〇、五
第二八二七號	理研	第十八類	七、二、五
第二七〇〇號	理研	第十七類	八、一、二八

第三九四三號	同	第一類	四、一、二、三
第三九〇一號	同	第四十五類	五、一、一、一〇
第三八五九號	ALMITE アムイテ	第一類	六、五、二〇
第三七九六號	理研	第四十五類	六、五、二一
第三六五七號	同	第四十五類	六、五、二二
第三五二八號	同	第七類	同
第三五一九號	同	第四十五類	六、七、六
第三四九七號	同	第六十九類	同
第三四四七號	理研	第四十三類	六、七、二八
第三三九二號	同	第四十七類	同
第三三〇一號	同	第五十一類	六、九、二五
第三二四四號	ALMITE アムイテ	第十七類	同
第三二〇二號	同	第二十七類	六、一、一、一〇
第三一〇九號	同	第十八類	七、二、一、三
第三〇五二號	同	第六十九類	七、三、一、三
第三〇〇九號	同	第六十三類	七、四、四
第二九四六號	同	第七十類	七、五、二二
第二八七五號	理研 Riken	第五類	九、一〇、五
第二八二七號	理研	第十八類	七、二、五
第二七〇〇號	理研	第十七類	八、一、二八

第20001號	理研	第五十一類	八、一、二八
第20005號	 理研	第二十類	八、三、七
第20014號	SAPORO キネーパ	第十六類	八、五、一〇
第20050號	RIKEN	第四十三類	同
第20051號	理研	第十七類	九、一、三〇
第20134號	SAPORO キネーパ	第二十類	同
第20206號	マダロン	第一類	九、二、二二
第20262號	理研	第六類	九、三、二四
第20584號	RIKEN	第七十類	九、四、一四
第20737號	Purethan フレタン	第六十一類	九、八、四
第20738號	理研	第一類	九、九、二〇

第21305號	 理研	第十七類	一〇、一、二三
第21017號	理研	第三類	一〇、二、八
第21401號	RIKEN	第十八類	一〇、四、一七
第21639號	理研	第二類	一〇、六、二九
第21930號	RIKEN	第二十二類	一〇、一〇、九
第22003號	RIKEN ECZIN 理研エクスン	第一類	一〇、一一、九
第22059號	ADFOIL	第七十類	一〇、二二、一〇
第22850號	RIKEN OVERTONE	第二十二類	一一、六、三
第22856號	理研カロシン	第一類	一一、九、二五
第22857號	理研ラクトレバー	第一類	一一、一一、二二
第22858號	理研エステロール	第一類	一一、一一、二〇
第22859號	RIKEN CAMPHER 理研カベンフェル	第一類	一一、一二、九

第二四九九號	理研フアクターL	第一類	一一、一二、九
第二八五二〇號	理研	第三十九類	一一、一、一六
第二八四九號	RIKEN OVERTONE	第十八類	一一、二、一八
第二八三八號	RIKEN CAMPHANAL	第一類	一一、三、一三
第二九二五號		第七類	一一、六、一九
第二九三六號		第二十二類	一一、九、一一
第二九五九號	RIKEN PULSO	第一類	一一、一一、一一
第二九二四號	RIKENOHM	第六十九類	一一、三、一〇
第二三三六號	RIKEN LUMINAS リケン ルミナス	第十八類	一四、二、二七
第二四二〇號	RIKENOPHONE リケン フォーン	第六十九類	一四、三、三三

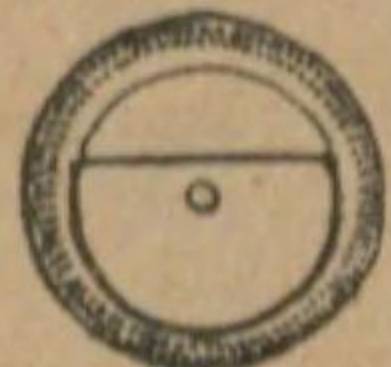
第三二〇九號	R. D. C アールディーシー	第六十九類	一四、六、五
第三二八三號	理研ピタス	第一類	一四、六、三〇
第三二八三〇號	KOHAKLITE コハクライト	第六十九類	一四、七、三
第三二〇六八號	R. D. C アールディーシー	第二十二類	一四、七、二五
第三二〇〇三號	PHENOLITE フェノライト	第十八類	一四、七、三一
第三二八六九號	RIKEN CAMPHENAL	第一類	一五、四、五

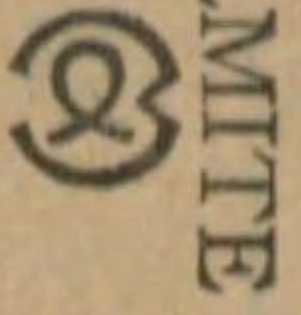
ハ、滿洲國商標

登録番號	名	稱	類別	年月日
第二九號	RIKEN 理研		第一類	一、三、一九
第九九一號	同		第十六類	一、七、二二



ト、意匠

登録番號	名	稱	類別	登錄年月日
第七五六號		紙牌の形狀及模様	第十九類紙牌	昭和 一一、四、八
第三四九號	同		第六類	六、一二、四
第三四〇號	同		第七類	同
第三三六號	同		第八類	七、二、三三

第一三九〇號	同		第十七類	一、八、一七
第五四八七號	同		第十八類	二、二、二五
第一五八九號	同		第七十類	四、二、一八
第二六一號	ALMITTE  ALMITTE		第二十一類	六、八、三〇
第三六二號	同		第三十七類	同
第三四四號	同		第十類	六、一、五
第三四〇號	同		第十二類	同
第三三〇號	同		第六十九類	同
第三三三號	同		第六十一類	六、一、三二
第三三四號	同		第六十二類	同
第三三五號	同		第六十三類	同
第三三六號	同		第六十四類	同
第三三七號	同		第六十五類	同

75
33

二、研究製作品目錄

- 一、電氣機械、器具類
- 二、光學及音響機械、器具類
- 三、測定機械、試驗機類
- 四、精密工作機械、工具類
- 五、水壓機、ポンプ類
- 六、部分品、其他の機械器具類
- 七、電氣化學製品
- 八、一般化學製品
- 九、藥品、營養劑、嗜好品類

一、電気機械、器具類

感光發電池
象限電位計
清水式鋭感檢電器

光エネルギーを電気エネルギーに變換する新裝置にして照射程度の測定等に應用し得べし
コムプトン型の象限電位計にして弱電流及靜電位の測定に適す
清水博士の考案に成るものにして金箔電位計に比して感度極めて良好且つ取扱容易なるを以て微小なる靜電位の測定に適す

リンデマン型電位計

微小なる靜電位の測定に使用され且つ可動部分は極小なるにより比較的短周期にして感度高し

織維電位計

急激なる電壓變化の測定に使用す

織維電流計

微小なる電流の急激なる變化の測定に使用す

鋭感電流計

極めて微弱なる電流の測定に適し其鋭感度優秀なるものなり

指鍼電流計

指鍼型電流計に屬し取扱容易にして感度は大體「10」アンペア程度のものなり

除振架臺

鋭感電流計、象限電位計の如き、反射鏡附測定器の測定にあたり、夫等の器械が外部より受くる振動を除去する事の必要なるは周知の事實にして、本器は極めて小型で何れの場所にも容易に運搬され而も殆んど完全に近き迄に除振の目的を達するものなり

放電計

リフレクトロスコープの一種にして實驗室用並に携帯用を兼ねたる放射能測定器なり。大型、小型の二種類あり

エマネーション・チェンバー

小型放電計の附屬品にして、液態試料用電離槽にて温泉のエマネーション測定等に最も便なり

I M 泉効計

本器は源泉、井戸、池水等の如き液態試料若くは源泉瓦斯、火山瓦斯等の如き氣態試料の含有するラドン

精密ラドン計

(ラヂウムエマネーション量)を迅速簡便に測定し得るラドン定量器なり
本器はソッデー教授の考案に成れる微量ラドン定量器を改良せるものにして普通の岩石、土壤等に含まる、極めて微量なるラドンを精確に定量し得べく、従つて又ウラン系元素を含む礦物に於ける此等元素をラドン法により定量せんとする場合、若しくは一般に極めて微量のラヂウムを上敘の方法によりて測定せんとする場合に使用さる

チャージングロット

普通の起電棒の如く摩擦を與へる必要なく、只ロッドを水平の位置より十度以内傾ける事により起電す
リフレクトロメーター等に使用するに便利なるものなり

電壓滴定裝置

電壓滴定法を行ふ裝置にして在來の滴定裝置に比して使用極めて簡便、價格亦廉なり

示差電氣滴定裝置

電氣滴定法によりて混合物、着色濁液、弱酸、弱鹽基、多鹽基酸等の容量分析を行ふにあたり、最も明確に終點を知り得る示差滴定法(微分滴定法)を極めて容易に行ひ得る裝置なり

波高電壓計

交流高電壓の最大値を精密且つ迅速に測定する新案電壓計にして定格概略次の如し

- 1 測定範圍 150 90 50KV (最大値)
- 2 消費電流 130mA (實効値) 50~
- 3 寸法 高九六糎 横六四糎 縱三二糎
- 4 重量 量三〇磅

不良碍子檢出器

本器は發電を中止せずして碍子の良否を簡單且明確に判別し得る裝置にして、その原理はネオン管の點燈を利用せるものなり。輕重量なるを以て使用に極めて便なり

フォニツク・モーター

フォニツク・モーターは一定周期を以て與へらるゝ電氣的トルクにて回轉せしめらるる一種の單相同期電動機にして、其一回轉並に六〇回轉(又は他の整數倍)毎に電路を開閉する裝置を備ふ。周波數の測定又は時計の如き一定回轉速度の標準器、其他ラヂオ、テレヴィジョン工學等に必須の器具なり

音環發振器 在來の音叉に代ふるに切割りを有する圓形鋼線を以て振動原體とし、真空管によつて驅動するものにして取扱簡便なり

濕度調整器 濕度調整のリレーにして室内の濕度を一定ならしめんとする場合に最も適し、工場、倉庫、病院等に取付けて常に一定の濕度を保ち得

繼電器 本器は濕度調整器と併用の目的にて製作されたるものなれど一般リレーとして電氣回路の繼續用に供し得べし。容量によりてA型、B型の二種に區別す

ビエゾエレキ用水晶板 ビエゾエレキ實驗に使用するものにして、纖維電位計を用ふるときは極小時間に變化する壓力を測定し得べく、或は清水式鋭感檢電器を用ひて最大壓力の測定にも使用す

陰極線オッシログラフ 電磁オッシログラフにては記録し得ざる急激なる過渡現象の記録に用ひらるゝものにして電氣工學研究に缺くべからざるものたるのみならず、機械工學其他の研究にも用ひらる

エレクトロ・カーデオグラフ 本機は心臟電流を撮影記録する機械にして、診察室用として取扱簡便に設計せられたるものなり

理研固定鑽石檢波器 感度鋭敏、壽命長久、強電流に耐へ且つ振動に因る感度の變化なし

リケノーム ラヂオ受信機、電氣電話機、其他一般電氣器具、機械類の部分品として使用せらるゝ電氣抵抗體にして、其電氣的性質極めて安定にして壽命永く抵抗値も正確なり。許容負價電力二分の一ワットより一〇〇ワットまで、抵抗値は一オーム乃至一〇メガオームの範圍のものが製作せらる

リケノーム刷子型加減抵抗器 リケノームを抵抗體として製作されたる加減抵抗器にして、精度〇・五パーセントの極めて實用的にして安價なる製品なり。ダイヤル數一個、二個、三個の三型にして素子抵抗一〇オーム、一〇〇オーム、一、〇〇〇オーム、一〇、〇〇〇オーム、一〇〇、〇〇〇オームの五種あり

リケノーム端子型高抵抗器 リケノームを抵抗體とし端子絶縁體に琥珀を使用し五個の端子を有しその接續により十五種の異なる抵抗値を得る便利なる高抵抗器なり。種類は總抵抗値一・五メガオーム、一五メガオーム、一五〇メガオームのもの三種あり

リケノーム比例邊抵抗器 リケノームを抵抗素子とせる便利なる比例邊抵抗器にして、兩邊加減し得るものと一邊固定し一邊加減し得るものと二種あり。抵抗素子の抵抗値組合せにより數種の製品あり

リケノーム聽度計 リケノームを素子抵抗體として製作せるものにして最大聽度一、〇〇〇、二、〇〇〇、五、〇〇〇及一〇、〇〇〇の四種類あり

リケノホーン リケノホーンは簡易電話にして、マイクロフォンとスピーカー或はスピーカーとスピーカーの組合せにより簡易に遠近の距離に通話を行ひ得

絶縁抵抗器 電動機其他一般電氣器具類の絶縁抵抗程度の測定をなす。現在五〇〇V—一〇〇〇Vメガー製作品あり

特殊電動機 用途に應じて最適の性能を發揮せしむる各種モーター類

渦流制動機 銅圓板を磁界内にて回轉する際に生ずる渦流損により回轉體のエネルギーを消失せることを利用して、電動機、原動機其他回轉體の出力の簡易測定を行はしむ

二、光學及音響機械、器具類

シャイナイ氏感光計 シャイナイ氏感光計を改良したるものにして寫眞乾板の感光度の測定に使用す

ヘフネル氏標準ランプ 電燈其他の燈火の燭光の測定或は科學上の測定に使用す

常壓水晶水銀燈 長岡博士の考案にして取扱極めて容易に、其使用電流僅に一〇〇ボルト、二分の一乃至一アマペアにして眞空水銀ランプよりも遙に強度の紫外線を發す。醫療用に最も適す

ラウエ寫眞器 X線による結晶體構造の研究に於てラウエスポットを撮影する寫眞器にして取扱容易、使用上便利なり



X線分光計

X線の研究並に結晶分子配列の研究に缺くべからざる特殊の分光計にして、ブラツグ氏の案出せるものに改良を加へたものなり

萬能X線スペクトログラフ

X線による物質の構造の研究に使用するに便利なるやう設計製作されたるものにして取扱容易なり。附屬品の各種により粉末結晶寫眞、液體廻折寫眞、纖維寫眞、ラウエ寫眞、廻轉結晶寫眞、X線分光寫眞、背面反射寫眞、ザウター・シーボルト寫眞撮影に使用せらる

理研波長分光計

一般スペクトル分析、スペクトル光度、スペクトル吸収又は精密な光波長測定等に使用するものにして研究用又は學校の教授用として適切なるものなり

水晶分光寫眞器

本器は光波長 2000Å-7000Å のスペクトル線を撮影するものにして、器械は小型にして且堅牢、調節を要せず取扱極めて容易なり。A型、B型、C型の三種ありてA型は手札判、B型はカビネ判、C型は4×10吋乾板用なり

高速度指壓計

高速度内燃機關等のインヂキターダイヤグラムを撮影するに適し、又運轉中の壓力變化を直接に觀測し得べし

光彈性學實驗裝置

光學的彈性試驗に使用するものにして特種の比較裝置を有し、最も速かに試験各部内の絕對値を見出し得べし

フエノライト板

光彈性學實驗用試験材料としてセルロイドの約五倍の感度を有するものなり

回轉暗函

氣壓測微計等の比較的長時間の記録を撮影する暗函にして、感光紙は直径一八釐幅五釐の圓筒に巻きつけ圓筒の速度は約五分間一回轉の間任意に調節し得。又圓筒は縱横兩位置にして使用し得べし

ペーパーカメラ

移動暗函に比して長き記録を撮影せんとする目的のものにしてロールにまきつけたるプロマイドペーパーを撮影用に充つ。音波撮影の如き高速度を要するものには特に適切なるものなり

移動暗函

纖維電位計、纖維電流計等の記録用として取扱容易なるものなり。乾板はカビネ判以下を使用し得、其の移動速度は毎秒三十廻を限度とす

時刻器(タイムマーカー)

前記移動暗函の附屬として使用するものにして小型同期電動器なり

ミクロフオートメーター

スペクトル寫眞乾板の感光度を曲線的に擴大して撮影するものにしてA型、B型の二種類あり

照度積算計

照度の時間的積分を作る裝置にして、例へば毎日の晴曇によつて吾々の享くる光量が如何様に變化するかを計量する器械なり。醫家が紫外線の多寡を定量し、農家が照り工合を記録し、或ひは染料顏料の褪色研究等の用に適するやう設計せられたる新器械なり

土井式屈折計

従來屈折計として使用されしジャマン氏の干渉計は二枚の平行平面鏡の調節極めて煩瑣にして、而も干渉縞は複雑なる曲線狀を呈し使用不便の點多し。本器は調節極めて簡易殆んど手を下さずして自ら完了せるに近きものあり、且つ干渉縞は互に平行なる直線狀を呈し、混合瓦斯の成分を分析測定し、其他液體氣體等の屈折率を測定するに輕便なる屈折計なり

爆發瓦斯檢出器

土井式屈折計を應用し特に携帶用小型に取り纏めたるものにして、空氣中に混じたる石油系瓦斯の量を檢出する器械なり。油輪船、ガソリン倉庫等に於て爆發防止の目的に必要なものなり。本器には又艦船用として一室にありて他の離れたる室の瓦斯を檢出し得るやう設計せるものあり。又メタン瓦斯及び炭酸瓦斯檢出用として目盛を施したるものあり

理研暗室ランプ

A型は一個のランプに三枚の濾光板を裝置しありて印畫紙、整色乾板、汎色乾板及赤外線乾板の現像を一個のランプにて行ふ便あり、取扱ひに便なり
B型は小型にして一枚の濾光板を裝置し簡單に取外し得るもの
C型は間接照明にして理想的の暗室の設備に必要なもの
而して以上の濾光板はウルトラジンの應用に依り執れも紫外線を完全に防止せり

日中映畫膜(デイライトスクリーン)

活動寫眞、幻灯等に用ふる映畫用膜面にして、入射光線に對して一定の方向にのみ亂反射を爲す特性を有し、此が爲に日中明るき室内又は夜間電燈にて照らされたる室内にても能く映寫するを得る

75
33

ものなり

理研閃光板 夜間撮影用フラッシュにして煙を發散せず爆發の危険なく扁平にして携帯至便、安價なるを以て特徴とす

階段的光學楔 光の強さを自由に加減し得る濾光器光度の測定、感光度の測定等に用ひらる

トーカー録音機 光學的に多面積型録音を爲すものにして、携帶に便なる様小型輕量に設計したるものなり

理研研究用トーカー録音機 一般音響研究者の爲に便利且つ精密に設計せられたる録音機にして、面積型並に濃淡型、音波形的の兩種又は一種を任意録音なし得る外、之をフィルム全面に六本迄録音し得るを特長とす。價格廉なり

レコードに録音して直ぐ聴き得る簡易録音機にして、特許一八二六二、新案二二一四三五其他の特長を有し、音響的に特殊の研究を経たるものなり。重量二七斤

活動寫眞用自動現象機 活動寫眞の陽畫フィルムを毎時三千六百尺乃至四千尺現像し得るものにして、小型且つ構造簡單なるを特長とす

三、測定機械、試験機類

スクリユーコムバレーター スペクトル寫眞等其他精密測定に使用し得べく、三十種の長さに於てスクリユーは千分の一ミリ以内の誤差なり。此大型は縱横二本のスクリユーによりキャピネ判上縱横の測定に供す

カセットメーター 本器は垂直距離を測定する器械にして測定距離六〇種、遊尺は二十分の一耗讀なり。必要に應じてはマイクローメータースクリユーを附屬し得

氣壓測微計 極めて微細なる氣壓の變化を著しく擴大して記録し、周期の短き氣壓の變化をも遺漏なく記録し得

テープ式クロノグラフ 紙テープを同期電動機によつて恆速を以て進出せしむるものにして比較的簡單なる装置によつて相當の正確度を有するもの

山本式微分計 形狀頗る小にして構造簡單、極めて簡易に而も正確に曲線の微分係数を求め得る微分計なり

青木式微分儀 圖上に表はされたる曲線の微分係数を求むる装置にして青木保博士の發明品なり。構造簡單、使用容易にして且精確なる値を求め得べし

四千氣壓アブソリュートゲージ 水壓に使用するものにして既知の面積を有するプランジャーに重量を荷し、之と液體とを釣合はしめ單位面積の壓力を算出するものなり。四千氣壓以下任意の壓力の測定をなすことを得

百氣壓アブソリュートゲージ 前記四千氣壓アブソリュートゲージと同じ動きに依るものにして百氣壓迄任意の壓力を一%の精度に於て測定し得べし

ピストンリング試験機 壓電氣現象の應用によりてピストンリングが氣筒内壁の各部に及ぼす壓力分布状態を極めて正確に測定しピストンリングの優劣を正確に判定し得るものなり

測微指示計 精密機械工場、測器、ゲージ工場に於て製品の部分検査に多量使用せらるるものにして、機械的に擴大し目盛板上1000mmを精密に讀み取る計器なり。目盛上の測定範圍は110.1mmにして測定し得る加工物の最大高さ180mmなり

I型測定機 精密機械工場、測器、ゲージ工場等を使用せらるる萬能式測定機にして、製品の長さ、外径、内径又はねぢのピッチ等の精密測定に便利なり。測定範圍は100mm 讀み取り精度1000mmなり

歪計 橋梁、船體、建築物等の局部的歪を500倍及び1000倍に擴大して測定するに使用せらるるものにして精度高く且つ取扱簡便なり

錐試験機 錐採機又は旋盤にて穿孔する際の錐の切削力を壓電氣現象の巧妙なる應用によりて精確に測定するものにして、工作機械研究者及鋼材研究者等に必要なるものなり。垂直型及水平型の二種あり

旋盤用刃物試験機 旋盤にて材料を加工するに當り其刃物の切削力を壓電氣現象の應用によりて三方向の分力を精確に測定するものにして鋼材研究者及工作工具研究者に必要なるものなり

纖維強伸度測定器

青木保、厚木勝基兩博士の發明に係り纖維の強伸度を寫眞裝置により簡單且正確に測定するものにして纖維及纖維素の研究又は纖維及纖維素に關係を有する工場に於て缺くべからざるものなり

熔融點測定器

種々なる物質の熔融點を最も簡便に且迅速精密に測定し得る裝置にして電熱用、瓦斯用の二種類あり

微量分析裝置

ブレル式微量分析裝置にして炭酸水素及窒素定量用裝置の諸部分品を具備す

理研ピンホールカウンタ

エナメル線の自動試験機にして試料の長さピンホールの數を同時に自示する便利なる試験機なり

理研PH測定器

無色より青又は紫を呈する二つの指示薬を用ひPH六・四乃至九・〇の目盛を施せるビュレットにて直ちに被檢液のPHを測る裝置なり

四、精密工作機械、工具類

尺度目盛機

目盛し得る最大長さ六五〇耗、其の精度千分の三耗にして自動目盛裝置を有す。學校、研究所又は一般工場用に適す

圓板度盛機

本機は自動的又は手動的に圓板に度盛を刻む機械にして精度は10秒内外なり。加工圓板の直徑三〇〇耗及五〇〇耗用の二種類あり

減速裝置

尺度、圓形目盛機等の原動力として設計せられたるものなるが、毎分二十回の如き緩回轉を必要とする小原動機として其目的に添ふものなり

精密螺子切旋盤

本機はマイクロメータースクリュー、又はスクリューゲージ或はタップ等の如き精密なる雄螺を切削する旋盤にして左記主要寸法及能力のものなり

センター間の最大距離

三〇〇耗

センターの高さ

七四耗

切り得る螺子の最大直徑

五〇耗

同 最大長さ

二七〇耗

精度(長さ二七〇耗に於て)

±〇.〇〇二耗

親螺子(自動修正裝置付)ピッチ

二、五耗

膨張及收縮に對する補整裝置(範圍)

〇.〇〇〇一—〇.〇〇一五

ベンチレリスB型の如くりードスクリュー及フィードロッドを備へざるも小物の加工には便利なり。

主要寸法左の如し。尙アツタチメントを附下することによりてスクリューの切削も可能なり

センター間の最大距離

三六〇耗

センターの高さ

一〇〇耗

ベッドの長さ

八〇〇耗

コレットチャックの最大直徑

一時及二四耗

ベンチレリスB型

机上型の小型旋盤なれどもりードスクリュー及フィードロッドを有し且コレットチャックを使用し得るが故に精密なる小物の加工に便利なり。主要寸法左記の如し

センター間の最大距離

五一五耗

センターの高さ

一二〇耗

ベッドの長さ

一、一〇〇耗

コレットチャックの最大直徑

一時、二四耗

親ネヂのピッチ

四耗

ウオッチメーカーリース

時計用旋盤として設計したるものなれど各部は特に精密にしてスライドレストを具備し、尙テイ

75
33

ストックも便利なる構造に成るを以て普通のベンチプレスにて加工し得ざる微小なるもの、加工に適す。種類はW型一號及二號、V型一號及二號の四種あり

ベンチミリングマシンA型 精密且堅牢なる小型ミリングマシンにしてユニバーサルタイプなり。小物の加工に便利なり
ベンチミリングマシンB型 前記A型に比し一層強力性を有しオルギヤー、モータードライブ型にして主要廻轉部分はローラー又はボールベアリングを使用し、自動注油装置をも有するユニヴァーサル型のものなり

ツールミリングマシン 前記二種のミリングより更に工作範圍の廣きものにして種々の特殊附屬装置を有し、工具は勿論治具
ゲージ類、其他母型等の製作に適す

センターレスグラインダー 圓筒形工作物の大量迅速且つ精密を要する加工に適す。操作極めて簡單にして主要廻轉部は自動注油装置を有し電動機直結型なり。被工作物の容量次の如し

三—三〇耗
三〇〇耗

標準定盤

特殊合金鑄鐵製にして周到なる人工及自然シーズニングを施しつゝ加工せられたるを以て工場用標準定盤として最も信頼し得るものにして一號(二〇〇耗×二〇〇耗)より七號(四五〇耗×七〇〇耗)迄の七種あり
前記定盤同様工場作業用標準器として使用するものにして一號(五五耗×五〇〇耗)より五號(七五耗×一、五〇〇耗)迄の五種あり

内面グラインダー 本機は工作物を回轉せしめずして孔研磨を最も効果的に施工すべく設計したるものにして、大なる外形を有する内燃機關、壓縮機等の氣笛の外、此等類似の孔研磨に適應するものなり

表面グラインダー 本機は理研ビストンリングの平面を研磨仕上する爲めに研究し獨得の考案に依り製作したるものにしてリングは勿論一般の平面研磨作業を最も簡便精密に施工し得るものなり

クランクラッピングマシン 本機は主として内燃機關、壓縮機、ポンプ等の曲柄軸の軸承部全部を一時にラッピングすると共

に角度及中心距離をも自動的に矯正するものにして單氣筒は勿論多氣筒不等角の曲軸等に使用して便なり
マダネチックチャック 在來のものに比して使用電力量僅少にして磁性強力且つ吸着力甚だ強し。寸法各種あり

RPCドリル及カッター 大河内博士の指導のもとに大越博士數年間に渉る學理的研究の蓄積と、理研ビストンリング株式会社崎、柿崎兩工場に於ける實際的經驗と相俟ち完成せる優秀品にして、其材料は理研獨得の配合に依るものを使用し且理研獨自の設計に基く専門的機械に依り製作したるものなり

五、水壓機、ポンプ類

三百疋每平方糎空氣壓縮機 水平型單曲軸三段壓縮機にして一般工場用高壓空氣壓縮機として使用せらるゝのみならず、化學工業に於て必要なる各種高壓瓦斯壓縮機として極めて適當なるものなり。本機には理研ビストンリングを使用し氣密作用極めて良く短時間の運轉によく所要の壓力に達す

二萬氣壓水壓機 高壓實驗用として製作せるものにして一千氣壓ポンプと併用す現在世界に於て製作し得る最大壓と云ふを得
二千疋每平方糎自動水壓ポンプ 電動機を裝置し自動的に極めて容易に此壓力を得べき水壓ポンプなり。バルブ及パッキングは特種の構造にして液體の漏洩等は絶對になし。高水壓試驗用、其他高壓實驗等に使用せらる

一千氣壓水壓ポンプ 簡單なる手押式にして容易に千氣壓の高壓を得べく漏洩の箇所殆んどなく僅々數回ハンドルを上下するのみにて可なり

二百氣壓水壓ポンプ 前記一千氣壓水壓ポンプよりも更に小型にて簡單に所要水壓を得るものなり
二百氣壓瓦斯壓縮容器 水壓ポンプを使用し水壓によりて瓦斯を二百氣壓に壓縮する容器なり
水銀デュージョンポンプ複式及單式 高度の空氣を作るに際し使用するものにして構造の簡單、使用法の便、到達し得る真空程度の大なる等の特徴を有す
單式 75mm、真空程度 10-5-10-6mm.

油擴散ポンプ

型式 フォアノキータ 6—10 mm. 真空程度 10⁻⁵—10⁻⁶ mm.

水銀デイフュージョンポンプの水銀に代ふるに常温に於て蒸氣壓の極めて低き特殊の油を以てし、水銀ポンプの缺點を補ひ容易に高度の真空を生ぜしめ得るものにしてテレットス硝子製なり。A型、B型、C型の三種あり

六、部分品、其他の機械器具類

理研ピストンリング

發動機、壓搾機等の氣筒内壁に對し均等なる壓力を有することを特徴とし、當所發明の方法によりて製造したるものにして普通「ピストンリング」よりも生産費遙かに低廉なり

ピストン

鑄鐵製及アルミ製共理研に於て多年研究せる特殊配合に依り鑄造せしものにしてシリンダー内部の熱に對して膨脹係數僅少且つ其工作方法は獨特の精密専門工作機械によりて爲され、理研ピストンリングと相俟つて各種機關の最大能率を發揮するものなり

鋼球

超高速回転軸用高精度の合金鋼製品
電氣的、化學的及機械的に優良なるエナメルを用ひ特殊の製造法により塗装せられたるエナメル線にして電氣通信器具其他一般電氣器具機械に使用せらる

シユタツヘル放熱管

輻射にして肉厚なるフィンを有し傳熱面廣く傳導率大なるを特徴とす。ヒーター、クーラーに利用せらる

内燃機關用發火栓

電氣絶縁完全にして熱の急變に因り破壊することなきを以て特に航空機又は自動車用に適す

デワー氏壘(運搬用及實驗用)

液體空氣容器にして真空度極めて高し
斷熱壘(一名家庭用魔法壘) デワー氏壘を應用改良せるものにして家庭用として四季を通じて保温或は斷熱に便なり

醫療用保温器

真空瓶を應用したるものにして外部より熱の影響を受くること少きを以て醫療用として食鹽注射或は洗滌用等に終始温度の變化なし

七、電氣化學製品

アルミニウム

本品は當所研究の方法即ち鈴木田中法に依りて得たるアルミナを電解して製したるものなり。本法に依ればアルミニウムの原鑛石は單にボーキサイトのみならず礬土頁岩、粘土類、チアスボル含有頁岩等アルミナの外硅酸、酸化鐵、酸化チタン等を主成分とする岩石或は鑛石なれば如何なるものをも使用することを得べし。作業は現今世に行はるる方法より簡單にして製品は極めて純粹なり。目下此方法によりて多量のアルミニウムを製造しつゝあり

金屬マグネシウム

國產原料を以て獨得の方法により製出す。工業用金屬中最も軽く、アルミニウムに比し比重約三分の二、機械的性質良好なり。之を合金として航空機、自動車等輕量を要する器具機械の材料に使用し、又粉末として照明劑に使用す

理研アルマイト

電解的にアルミニウム面に堅硬な酸化皮膜を形成せしめたものにして、皮膜は剝離の惧れなく表面平滑、優雅なる色澤を有し、機械的に損傷を受け難く、發明當初の目的たる耐熱性電氣絶縁物としての應用のみならず熱、の吸熱板又は放熱板ともなる。磨耗によく耐ふる爲砥石等の研磨材としても使へ、又録音盤として好適なり。相當の抗蝕性をもつを以て鹽類、酸類等に因る腐蝕を防ぐ種々の用途にも供せらる。又染色、鍍金、印刷、寫眞印畫、瑤裝等自在なれば、種々の機械器具、建築物等の構成材料或は漆器の素地として用途廣し。就中特殊の條件にて得る透明なる皮膜は銀器に優る工藝品、光線熱線の反射板等の製作に好適なり

理研コランダム砂布

純國產高級砂布にして砂粒極めて堅硬強靱にして切味良く壽命永し

理研コランダム耐水砂紙

ラッカー塗料水磨用砂紙にして砂粒の膠著極めて強く耐水性大なる國產品なり



熔融マグネシヤ

高温度の電氣爐にて再結晶するまで完全に熔融しあるを以て、純度極めて高く密度大なるを以て一般高級電氣絶縁物其の他高熱を要する爐材料として好適なり

理研コランダム坩堝

耐熱攝氏二〇〇度、特に耐酸性に強く濃硫酸等の濾過用又は電氣分解槽内隔壁用に好適す

理研マグネシヤ坩堝

結合剤を用ひず製造したるものなるを以て普通坩堝に比し耐熱度著しく高く熔融物質を汚損することなし
熔融點攝氏二八〇〇度

八、一般化學製品

炭酸マグネシウム

マグネサイト礬を原料として製造したるものにして透明性保護混和用及保温材等に適す

理研陽畫感光紙

直接陽畫に現はれる青寫真代用印畫紙にしてアンモニア瓦斯に由る乾式現像法のもの及び従來の青寫真機械を其儘利用し得る濕式現像法の二種あり。前者は白地に青紫線、後者は白地に褐色線を現はす

理研ミネラルフェルト(理研保温材)

礦物性纖維を特殊の化學的方法により溼青質結合剤を以て處理して成る低溫断熱材故に防音材にして、燃焼性少く變質腐蝕せず輕量にして無臭なるの特徴を有す

防火塗料

強熱を受けて自ら分解することなく熱の傳導と酸素の供給とを防ぐ性能を有し、完全なる防火作用を有する塗料にして華氏二千度の熱に耐ふ

理研ラツカー

品質優秀なる高級硝化綿塗料にして、諸機械、各種車輛、自動車及家具等に用ふるに適す

回收保護

廢棄護膜を原料として溶解法に依つて處理したるもの

テトラリン

有機物の溶媒特にテレピン油の代用品としてゴム工業其他ペイント、グアニッシュ等に用途頗る多し

理研一〇番

ゴムの配合剤にして軟化剤の性質と補強剤としての性質を共有するものなり

理研一〇〇番

強力なるゴム硫化促進剤にてウルカチツトP級に屬するものなり

理研二〇〇番

ゴム硫化促進剤にして殊に純透明ゴムに好適なり

アドソール

常温にて蠶絲、繭、水産物其他食品品の乾燥、工場、劇場、倉庫、病院等温濕の調整、家庭貯蔵品の防濕、天然瓦斯、石炭瓦斯より揮發油分の採集に使用す

漂白劑ケラモコール

古印刷紙の漂白劑となり或は織物の糊に使用す。窒素原料の可塑性増加剤として最も便なり

濾水劑クラリット

水の悪臭、有機物、鐵分、アンモニア等を吸着除去し、又恐るべきバクテリアをも酸化滅滅する外硬水を軟化する效を有す

理研アダマント(金屬早磨)

結晶狀アルミナの極めて微細なる粉末を糸屑に附着せしめたるものと、液狀の混合物となしたるものと二種あり、糸屑の方は此れを用ゐて金屬を磨けば速に光澤を出し、液狀のものは普通の直輪磨と同

軟性金屬の微粉

一方法にて使用す。併し此液は長時間放置するも結晶せず

ウルトラジン眼鏡

複雑なる機械的操作に依らず瞳類を用ひて簡単に製造したる鉛、錫、ハンダ等の粉末なり

ウルトラジン濾光器

紫外線のみを吸収するもの、紫外線及赤外線を吸収するもの等ありて、一般用、熔接用及スキー用の三種あり

エリスロシンP

普通乾板より整色寫真乾板を簡単に作り得る感光性色素

イルミノールR及びびG

孰れも普通乾板より汎色寫真乾板を簡単に作り得る感光性色素

イルミノールU及びびUII

孰れも普通乾板を使用して赤外線寫真乾板を簡単に作り得る感光性色素

ネオイルミノール

普通乾板を使用して特にカブリ少き赤外線寫真乾板を簡単に作り得る感光性色素

ベンジルフリユオラミン(一名B・E)

整色寫真の感光用色素にして此の色素を以て染色せる寫真乾板はよく綠色、黄色の光線に感じ、現像の際カブリを生ずる事なく染色後二箇年を経過するも變質する事なし

752
338

ア ニ リ ン

本品は他の製造法と異リニトロベンゼンを水素を用ゐる氣相に於て接觸的に還元し一操作により得らるるものなるが故に、染料中間體として容易に多量の生産に適し殊に其純度高きを以つて良質となす

理研顯微鏡色素第一號

ギムザ染色の如き多染性と變色性を示す。染色操作容易且迅速、染色所見極めて鮮明、殆んど總べての細菌(抗酸性菌を含む)を濃染するのみならず同時に芽胞、莢膜菌體內顆粒等をも容易に着染す

P H 測定用指示薬

プロムクレゾールブラウはPH六・四乃至八・〇、クレゾールロートはPH七・八乃至九・〇の水素イオン濃度測定に適し尙前者は滴定用指示薬に適す

無水フタル酸

ナフタリンの空氣酸化に由る製品にて、染料中間體、合成樹脂及びヂフチールフタレート如き有機溶劑の原料として多量に使用せらる

理研アンブroid(壓縮琥珀)

國產琥珀を原料とした壓縮琥珀にして極めて優良なる電氣絶縁性を有し、高度の絶縁を必要とする電氣器具類の絶縁體として使用する外、裝身具類其他に使用せらる

液 體 空 氣

空氣を強く壓搾して再減壓し液化したるものにして、氷點下一九三度なる故強烈なる冷却作用を有す。ラヂオ真空管製造其他化學實驗用、酸素瓦斯製造用に使用す

擴散ポンプ用油

常溫に於て蒸氣壓の極めて低き特殊性ある優良なる油なり

九、藥品、榮養劑、嗜好品類

理研ビタミン

肝油中に存在する有効成分を化學的操作に依り完全に抽出し膠球に入れ内服用とせるもの

理研ビタミン(小粒)

従来の理研ビタミンAと成分は同じく小粒膠球に入れ特に小兒用を目的とせるもの

ビオステリン

理研ビタミンの濃厚溶液を精製し注射用としたるもの

理研ビタミンD

本邦産食用菌椎茸より抽出せるエルゴステリンに紫外線を照射して作りたるビタミンDをオリヅ油に溶解せるもの

理 研 レ バ ー

牛の肝臓を原料として赤血球、白血球及血色素を急速に増加する造血新劑なり

理研ラクトレバー

母乳分泌機構に不可欠なる新榮養素「ファクターL」を主劑とせる泌乳促進肝臟製劑なり

理 研 ビ タ ス

肝臟及び糖より抽出したる濃厚ビタミンB群劑にして殊にラクトフラビンを多量に含有するを以て、成長促進、食慾亢進、榮養増進、胃腸整調並に解毒の作用強し。肺結核の治療に好結果を奏し又酒毒を防止する作用あり

理 研 無 鹽 醬 油

本品は鹹味主成分として食鹽の代りに林檎酸曹達を使用せるが故に、腎臟病、水腫症、高血壓症、胃酸過多症等の患者の食用に供する時は能く食鹽による有害作用を軽減し得るものなり

理 研 ユ ー キ 鹽

純林檎酸曹達にして前記無鹽醬油と同様の目的に使用せらる

理 研 衛 生 酢

ビタミンを含有し風味芳醇にして絶対に變味又は腐敗の虞なし

理 研 ソ ー ス

新鮮なる蔬菜の煮沸汁にビタミンを多量に含有する調味料を配劑したるもの

理 研 榮 養 調 味 料 「 サ ー ボ ー ロ 」

魚肉及其臟腑等の惡臭を完全に除去し其固有の榮養分と滋味とを併せしめたる美味なる粉末にして、優秀なる蛋白質及燐カルシウム沃度等の給源として食品に混入添加し榮養調味の増進に資す

理 研 合 成 酒

米を調節する目的を以て、米を用ゐず清酒と同一の風味を有するやう化學的に合成したるものにして、有害の成分を含まず絶対に腐敗の虞なし

コックサンウイスキー

理研清酒原料酒精を利用製造せるもの

琥珀酸・フマル酸

ベンゾール或はガンリンより製し合成酒其他の酸味劑として用ゆ

林 檎 酸

ベンゾール或はガンリンより極めて安價に製し得る清涼飲料原料にして枸橼酸、酒石酸に代用し得らる

理 研 皮 膚 藥 エ ク シ ン

ビタミンD及び紫外線照射脂油を主體とせる亞鉛華軟膏なり。一般創傷、糜爛、潰瘍特に濕疹、汗疹に

752
338

應用す。表皮形成速にして創面良く乾燥性を保ち顯著なる殺菌、消炎、制痒作用を示す
プレタン(ミクロジン) 本品の化學的成分はフェニルチオウレタンにして皮膚病中殊に水むし、田むしに對し外用として極めて
有效なり。又注射劑となせば癩に有效なり

理研トラヒチン 北海道産センノキより取出したる溶血作用強力なる結晶サボニンより製したる祛痰劑
精製せる白色結晶サボニンを主劑とし之に解熱、強心、鎮痛、鎮靜の諸劑を加へたるものにして、發熱、咳

理研カンフェナール 作用初期の抑制作用なく直に心臓機能を興奮する唯一のカンフェル新誘導體(10)(若くはベータ)アボカン
フェル(1)アルデヒドの純結晶を一・〇パーセント水溶液とせる注射用強心呼吸興奮劑

理研マグ(コロイド・マグネシヤ) 膠狀水酸化マグネシウムの白色乳狀液にして制酸劑或は緩下劑として用ゐらる。胃酸過多症
胃潰瘍及常習便秘等に卓效あり

理研殺蟲劑ネオトン 藥害なく農作物、園藝作物、樹木等に寄生する害蟲、家禽等に寄生するシラミ、ノミ、羽蟲、ダニ等を驅
除するに用ゆ

蔬菜及果實の營養飲料 特殊濾過装置により得たる清澄無菌の果汁にして、其製造行程中に藥品、微生物等を使用せず且つ加熱
も行はざるを以て生果物汁液其儘のものなりと言ふを得べく、従つて榮養價大なるは勿論又無變質、無沈澱

にて長期貯藏に耐ふるを以て特徴とす
特殊濾過装置により得たる清澄無菌果汁に純粹培養の酵母を用ゐて造りたるものにして、此の製法に依る場
合は従來の製法と異り其品質を任意に統制する事が出來、従つて合法的に理想的優良果實酒が得らるゝを特

微とす

果 實 酒

◇猶當所工作係は左記諸工作其他特殊理化學機械製作の御依頼に應ず

精密目盛及測定

◆尺 度 目 盛	精密の長さ	2/1000 mm.
	最大の長さ	1 m.
	最大の幅	2 cm.
◆圓 盤 目 盛	精密の直径	2 sec.
	最大の直径	2 m.
◆精 密 螺 子 (但し牡螺子に限る)	精密の長さ	2/1000 mm.
	最大の長さ	30 cm.
	最大の直径	5 cm.
◆長 さ の 測 定	精密の長さ	1/1000 mm.
	測定し得る最大の長さ	1 m.
	Pylex Glass 細工	Quartz Glass 細工



752
338

昭和十五年九月二十日印刷
昭和十五年九月廿五日發行

【非賣品】

財團 理化學研究所

電話大塚 (86)

自三三三
至七七四
自一一一
至四四〇
自七七七
至九九七
自九九七
至五五七
自五五七
至七五七

代表者 大河内正敏

東京市本郷區駒込上富士前町三番地

印刷者 安藤孝

東京市日本橋區兜町二丁目一七番地

印刷所 株式會社 科學主義工業社印刷部

東京市日本橋區兜町二丁目一七番地

~~752~~
~~338~~

752
338

752

Faint rectangular stamp or impression on the right page.



625
103

